

平成30年度

事業報告書

社会福祉法人
正友会

目 次

	頁
I. 法人本部	1
II. 特別養護老人ホーム満濃荘	
(1) 介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業	11
(2) 通所介護事業	28
(3) 居宅介護支援事業	30
(4) その他の事業	32
1.満濃荘老人介護支援センター	
2.給食サービス事業	
3.生きがい活動支援通所事業	
III. 特別養護老人ホーム仲南荘	
(1) 介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業	35
(2) 通所介護事業	50
(3) その他の事業	52
1.仲南荘老人介護支援センター	
2.生きがい活動支援通所事業	
IV. 特別養護老人ホームやすらぎ荘	
(1) 介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業	54
(2) 通所介護事業	67
(3) 居宅介護支援事業	69
(4) その他の事業	71
1.給食サービス事業	
2.生きがい活動支援通所事業	
3.ふれあいランド友の会	
4.まんのう町琴南高齢者生活福祉センター	
V. グループホームよりあい	
(1) 認知症対応型共同生活介護事業	74
(2) 通所介護事業	86
VI. デイサービスセンターおひいさん	
(1) 通所介護事業	89

I. 法人本部

I 法人本部

平成30年度は3年間の中期事業計画「チャレンジ2018」の3年目として、具体的な目標を掲げて取り組みました。4年ぶりに日本経営品質賞の申請を行い、法人の組織活動を経年で確認しました。組織の強みと課題を明らかにし、次の中期事業計画の策定につなげることができました。

□利用者サービスの向上

それぞれの施設・部署で行われる会議や研修で知愛一如手帳を用いて基本姿勢を確認しました。また、いただいたご意見やアンケートの結果を振り返り、改善した結果が継続的にできているかを確認しました。

ポジショニングの考え方に基づいた介護技術の統一を図るため、法人独自の評価シートを作成し、計画的に研修を重ねました。資格認定制度を法人として初めて構築し、主任や主任補佐が中心となって技術指導を実施しました。家族会や地域行事では福祉用具を用いて、介護の考え方や具体的な方法を説明しました。

ご利用者に負担のかからない介護をすすめるために走行式リフトやスタンディングリフトを活用しました。車イスを法人全体で見直し、福祉用具を更新しました。

□職員の育成と定着

労働安全衛生の取り組みをすすめ、各施設で危険箇所の把握と改善を行いました。職員の腰痛予防に向けた話し合いを行い、柔軟体操を促す掲示物を作成しました。

ご利用者を「持ち上げない」「抱えない」「引きずらない」ノーリフティングの考え方に基づいて介護を行うことが、職員にとって働きやすい職場となるよう取組みました。

外国人留学生をアルバイトとして受け入れ、仕事を通じて介護と日本語を学べるよう、コミュニケーションを図りました。また技能実習生はスケジュールが遅れましたが、受け入れ機関である協同組合と連絡を取り、受け入れの準備をすすめました。

□地域への働きかけ

地域で行われる行事に積極的に参加し、住民の方々とも交流する機会が増えました。各施設が企画した茶会やカフェに、多くの方が参加くださいり、担当した職員もコミュニケーションを図ることができました。

よりあいを会場に実施している「まんまんカフェおよりさん」には、毎月多くの方々が継続して参加され、楽しみにされている様子が伺えました。喜んでいただけることが職員の励みになっています。

法人内の施設を会場に実施した傾聴ボランティア講座を受講された地域の方々が、各施設にボランティアとして来てくださいました。それぞのキャリアを活かして、継続的にご利用者とコミュニケーションの機会を図ってくださっています。

□組織統治の強化

経営幹部会・施設長会・統括課長会において、法人全体の課題を議論し、方向性を見出しました。

日本経営品質賞へ申請し、日常的に積み重ねてきた組織活動を文書にまとめ、外部審査を受審しました。第三者の視点で法人の組織活動を細かくアセスメントいただき、継続し

て組織活動が進んでいることに評価をいただきました。一方、職員の役割認識やモチベーション向上への取組みに対して課題提起があり、次期中期事業計画の骨子につなげました。

働きやすい職場を目指すことをテーマとした監督職研修を実施し、管理・監督者が受講しました。部下との日常のコミュニケーションの重要性を再認識しました。

地域の防災計画に基づいて、5月にまんのう町と福祉避難所の協定を締結しました。大規模災害のリスクに備えて、法人内部で検討を重ねました。

法人委員会

◇ 研修委員会

- ・研修計画に基づいて、一年間研修を実施することができました。委員会メンバーが意見を出し合って計画・実施を進めました。実施後の研修結果は所属長へ報告し、情報共有を行いました。
- ・中堅職員研修は、対象職員が役割認識を再確認できることを目的として企画しましたが、経験年数に幅があり、期待した成果が得られませんでした。

◇ サービス向上委員会

- ・年2回の第三者委員報告会に向けて、リスクマネジメント委員会とも意見交換をして臨むことができました。
- ・地域の方が集まる行事に参加し、交流を通じてお一人お一人の思いを伺うことができました。
- ・利用者アンケートを3年間継続して実施し、比較表を作成して経過を確認しました。多くのご意見をいただけるよう取組みましたが、記録にしていくことが引き続きの課題として残りました。

◇ リスクマネジメント委員会

- ・各施設の感染症情報を共有し、対応方法の確認をすることで予防につなげました。
- ・職員の意識向上を目的に節約アンケートを実施しました。集約して情報提供をしましたが、具体的な改善や実践までは至りませんでした。
- ・各施設で起こった事故を情報共有し、対応策を提案することにつなげました。モニタリング様式を見直し、再発防止に向けた体制を強化しました。

中期事業計画策定チーム

- ・年度前半は災害等による経営リスクを最小限にとどめるため、事業継続計画のあり方を検討しました。優先順位をつけて具体的に取り組むまでには至りませんでした。
- ・現在の中期事業計画の進捗を確認し、今後取り組むべき課題を明らかにしました。日本経営品質賞の審査やフィードバックを受けて、次の3年間の計画を立案しました。取り組みの成果を数値化して表せるよう、計画の立て方も見直しを図りました。

地域福祉推進チーム

- ・まんのう町、琴平町の両社会福祉協議会と定期的に法人間連携会議を開催し、地域の福祉課題について情報共有をしました。

- ・年間を通じて公民館や地区の社会福祉協議会から介護教室等の講師依頼があり、それぞれのテーマに合わせて職員を派遣しました。
- ・法人主催のグラウンドゴルフ大会の開催、JA ふれあい祭りへの参加協力など、地域の方々とお互いに協力し合ってすすめました。
- ・5月に高齢者等行方不明者情報の連絡訓練を実施し、他法人の方々と地域課題の解決に向けた体制を確認しました。

採用活動推進チーム

- ・学生に近い年代の職員が中心となって、施設見学や説明会の対応をしました。介護の仕事を具体的に知ることができるよう、就業体験を受入れました。体験終了時には就業の意思を確認し、ミスマッチを防ぐ取組みを進めました。
- ・外部の合同説明会にリクルーターが参加し、明るいブースづくりを行いました。介護の仕事に关心がある学生に対して、現場職員としての生の声を伝え、法人に興味を持っていただけるよう働きかけました。
- ・新人職員の定着に向けて定期的に実施されるフォローアップ研修に先輩職員として参加しました。それぞれの時期に感じている課題を共有し、アドバイスを重ねました。

ポジショニング推進チーム

- ・ノーリフティング基礎介護技術の4項目について評価シートを作成し、評価ができる仕組みを作りました。基礎介護技術の動画も作成し、主任・主任補佐が中心となって技術の浸透を図りました。
- ・毎月の定例会で各施設の取り組み状況を確認し、褥瘡防止や福祉用具の活用も情報共有しました。

広報活動推進チーム

- ・前年度にリニューアルしたホームページの記事を定期的に更新し、情報発信をすすめました。各施設の活動をチームで共有し、広報誌発行の進捗確認も行いました。
- ・3月に社内報を発行しました。職員アンケートの結果やオイスカの海岸林再生プロジェクトの取り組みを紹介し、職員の法人理解につながる記事内容にしました。

介護ソフト活用推進チーム

- ・次年度10月に更新が予定されている介護ソフトを有効に活用することができるよう、12月にプロジェクトチームを立ち上げました。各施設の運用状況を確認し、改善したい事項を整理しました。
- ・現在使用している記録物の整備状況を確認し、今後電子化・統一化することで記入の重複を避け、無駄を省けないか検討しました。

役員会等会議開催状況

日付	内容	出席者
5月17日	公認会計士会計監査	岸上会計事務所2名、職員4名
5月22日	監事監査	監事2名、職員3名
5月30日	理事会	理事7名、監事2名
6月19日	評議員会	評議員7名、監事2名、理事1名
6月21日	苦情解決第三者委員会	第三者委員3名、職員13名
8月18日	理事会	理事6名、監事2名
11月20日	苦情解決第三者委員会	第三者委員3名、職員12名
11月20日	公認会計士会計監査	岸上会計事務所2名、職員4名
12月20日	理事会	理事7名、監事2名
3月20日	理事会	理事7名、監事2名
3月28日	評議員選任解任委員会	委員3名、理事1名、職員2名
3月29日	評議員会	評議員7名、監事2名、理事1名

外部からの視察等受入れ

日付	団体名・視察者等	参加人数	受け入れ施設
5月26日	社会福祉法人陽成会(愛媛県今治市)	参加者14名	満濃荘
1月25日、26日	経営品質向上活動ベンチマー킹	参加者10名、指導者5名	満濃荘

日本経営品質賞の申請、受審

月日	内容	場所	参加人数
4月5日	申請説明会(東京)	日本生産性本部	職員2名
5月2日	申請応募書の提出		
6月20日	申請書の提出		
7月22日	トップコミュニケーション	満濃荘	審査チーム6名 職員 8名
9月23日	現地審査(1日目)	満濃荘	審査チーム6名 職員 9名
9月24日	現地審査(2日目)	満濃荘	審査チーム6名 職員 23名
12月1日	フィードバック会議	満濃荘	審査チーム4名 職員 21名

法人内研修等

月日	研修内容	参加人員	テーマ(講師)など
4月1日	新入職員研修	2	法人が大切にしていることの確認とこれからの目標について考える時間とした。
4月2,3,4日	人事考課制度研修	27	下半期の人事考課を行うにあたり、考課者が法人の人事制度を改めて確認した。また個人情報保護についてと育児・介護休業の制度理解について確認の機会をもった。
4月27日 5月31日 6月29日	新規採用者フォローアップ研修	2 2 2	新人職員が定期的に集まり、自身の成長が確認できる機会とした。先輩職員からのアドバイスを受け、不安の解消や次月への課題を見出すことにつなげた。
6月8,15,18日 7月2,20日		158	リブドゥのアドバイザー寺尾様をお招きし、全職員を対象とした勉強会を実施。スキントラブルの予防や体位変換の重要性・ポジショニングについて学んだ。
7月10日 8月14日 9月11日		24	ノーリフティング基礎介護技術の評価4項目について特養・デイの介護主任・主任補佐を対象に自チームに指導していくよう、細かな技術や評価ポイントを確認した。
8月29日	2年目職員研修	13	入社してからの1年を振り返り、意見交換を通して自分を見つめ直す機会とした。今後の目標を設定し、将来の姿をイメージした。法人内の制度や基本的な考え方の理解を深めた。
10月1,2日	人事考課制度研修	14	上半期の人事考課を行うにあたり、考課者が法人の人事制度を改めて確認した。また年休付与や子の看護休暇・介護休暇の取扱いについて確認・話し合う機会とした。
10月4日	新規採用者フォローアップ研修	2	入社半年を振り返り、自分の成長を確認した。また先輩からのアドバイスを聞くことにより年度後半の課題を明確にし、個々の育成を目指した。
10月31日	エルダー職員継続研修	2	エルダーとしてどのように関わってきたかを振り返り、困っていることや悩みなどを話し合い、共有した。また後期の課題を考える機会とした。
11月4日	内定者研修①	4	内定式終了後に、内定者が社会人になることを自覚する目的で行った。特養3施設を見学して法人事業の理解を深めるとともに内定者同士の交流を持った。
12月8日	内定者研修②	3	GHよりあと3ヶ月おひいさんを施設見学。内定者が社会人になることを自覚し、内定者同士・先輩職員との交流を深めて、所属意識を高めた。
12月21日	中堅職員研修①	18	中堅職員に求められる5つの能力について自己評価し、疑問や不安点も踏まえて意見交換した。これからの課題について再認識した。
1月21日	監督職研修	21	講師に産業カウンセラーの國村博子氏をお招きし、お互いが気持ち良く働ける職場づくりをテーマに実施。常日頃の自身の言動を振り返り気づきを得る機会とした。
1月28日	中堅職員研修②	13	事例を使ったグループワークを通して、チームリーダーとして必要とされる能力を考える機会とした。
2月17日	内定者研修③	2	講師にアビリティセンターの太田和也氏をお招きし、接遇・マナー研修として社会人としての心構えやビジネスマナーの基本について学んだ。

法人内研修等

月日	研修内容	参加人員	テーマ(講師)など
2月26日	組織力向上活動発表会	122	日頃チームに分かれて行っている活動をふり返り、具体的な取り組みの課題や成果を整理・確認するとともに、今後のさらなる組織力の向上につなげていくことを目的に1年間の取り組みを発表した。
3月20日	新エルダー研修	4	新しくエルダーとなる職員が、エルダー制度について理解し、新人職員との接し方を学んだ。
3月25,26日	新規採用者研修(合同)	4	新人職員が介護職員としての基本姿勢と法人組織の一員としての意識を持てるよう実施した。
3月26日	基本介護技術研修	5	新人職員と一緒に介護職員としての基本姿勢や排泄ケア、ノーリフティングケアについて学んだ。
3月28,29日	新規採用者研修(配属先)	4	配属先においてより実務に沿った研修を行うことで、入社に備えることを目的として実施した。

社会福祉法人正友会

職員研修派遣状況

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
4月5日	四国経営品質賞申請説明会		東京都	理事長	長谷川智一
"	"		"	本部長	中川芳栄
4月12日	E式合同考課者研修会	高松市		企画部長	合田香織
4月19日	施設入所時等における身元保証や死後事務等の現状と課題に関する検討会	高松市		事務局長	丸畑 望
4月20日	香川県福祉懇談会	"		理事長	長谷川智一
"	次世代リーダー経営品質向上活動勉強会		東京都	事務局長	丸畑 望
4月24日	施設ケアを変えるための問題解決セミナー 高知県施設見学会		高知県	事務局長	丸畑 望
5月10日	社会福祉法人サンシャイン会 講師派遣	小豆郡		事務局長	丸畑 望
5月17日	香川県経営協総会	高松市		理事長	長谷川智一
5月19日	まんのう町商工会通常総会	まんのう町		事務局長	丸畑 望
5月23日	平成31年3月新規学校卒業予定者対象求人手続説明会及び講演会	丸亀市		事務員	土岐直子
5月24日	善通寺社会保険委員総会及び事務研修会	三豊市		事務員	土岐直子
"	まんのう町福祉避難所協定式	まんのう町		理事長	長谷川智一
"	"	"		本部長	中川芳栄
5月28日	協同組合クローバー通常総会	坂出市		理事長	長谷川智一
"	"	"		事務局長	丸畑 望
6月5日	高知家ノーリフティングケア宣言 基本セミナー		高知県	事務局長	丸畑 望
"	"		"	企画部長	合田香織
6月11日	まんのう町社会福祉協議会理事会	まんのう町		理事長	長谷川智一
6月12日	算定基礎届事務講習会	丸亀市		事務員	土岐直子
6月22日	次世代リーダー経営品質向上活動勉強会		東京都	事務局長	丸畑 望
6月26日	企業対象インターンシップ実践セミナー	高松市		企画部長	合田香織
7月4日	企業対象インターンシップ活用セミナー	高松市		企画部長	合田香織
7月9日	居宅介護支援事業健全化対策検討会	まんのう町		理事長	長谷川智一
7月11日	四国経営品質協議会定例会		徳島県	事務局長	丸畑 望
7月11~12日	社会福祉懇談会総会・経営セミナー		東京都	理事長	長谷川智一
7月17日	施設ケアを変えるための課題解決セミナー	高松市		理事長	長谷川智一
"	"	"		本部長	中川芳栄
"	"	"		事務局長	丸畑 望
"	"	"		企画部長	合田香織
7月19~20日	社会福祉法人会計研修会		"	経理課長	古川隆子
7月26日	社会福祉施設経営実務セミナー		大阪府	事務局長	丸畑 望
7月27日	都道府県経営協セミナー(前期)	高松市		理事長	長谷川智一
"	"	"		本部長	中川芳栄
7月28~29日	四国地域福祉実践セミナーin香川・仲善	善通寺市		理事長	長谷川智一
"	"	"		涉外課長	谷口雅宣
7月31日	リクルートキャリア新卒採用セミナー	高松市		事務局長	丸畑 望
"	"	"		企画部長	合田香織
"	香川県経営協 中国・四国ブロック社会福祉政策セミナー		岡山県	理事長	長谷川智一
8月1日	香川県人権・同和問題講演会	高松市		事務員	土岐直子
8月17日	香川県小規模法人等ネットワーク推進セミナー	高松市		事務局長	丸畑 望
8月24日	次世代リーダー経営品質向上活動勉強会		東京都	事務局長	丸畑 望
8月28日	四国経営品質協議会定例会	高松市		企画部長	合田香織
9月7日	福祉サービス苦情対応研修会	"		第三者委員3名	
9月20~21日	社会福祉法人経営者大会		長野県	理事長	長谷川智一
9月25日	居宅介護支援事業健全化対策検討会(第2回)	まんのう町		理事長	長谷川智一
9月27日	四国経営品質協議会幹事会・定例会	高松市		事務局長	丸畑 望
"	四国経営品質協議会定例会	"		涉外課長	谷口雅宣
10月16~18日	ベトナム現地視察		ベトナム	事務局長	丸畑 望
10月17日	発災時に福祉的支援を行うための研修会	高松市		涉外課長	谷口雅宣
10月18日	就職情報交換会in香川	"		事務局長	丸畑 望
"	"	"		企画部長	合田香織
10月18~19日	中国・四国地区社会福祉法人経営者セミナー		山口県	理事長	長谷川智一
10月26日	次世代リーダー経営品質向上活動勉強会		東京都	事務局長	丸畑 望
10月29日	まんのう町・琴平町・正友会関係協議会	琴平町		本部長	中川芳栄
"	"	"		涉外課長	谷口雅宣
11月1日	四国経営品質協議会定例会	高松市		理事長	長谷川智一
"	"	"		本部長	中川芳栄

社会福祉法人正友会

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
11月6日	認知症の当事者の声を聴く会	高松市		涉外課長	谷口雅宣
11月6~7日	社会福祉懇談会経営セミナー・臨時総会		東京都	理事長	長谷川智一
11月8日	町社協役員及び評議員研修会 法人後見事業に係る研修会	まんのう町		理事長	長谷川智一
"	健康・福祉まつりについて意見交換および法人後見制度に係る研修会	"		涉外課長	谷口雅宣
11月12日	まんのう町社会福祉協議会理事会	"		理事長	長谷川智一
"	年金委員・健康保険委員研修会	高松市		事務員	土岐直子
11月15日	社会福祉法人の法令遵守研修会	高松市		事務局長	丸畠 望
11月28日	人権問題研修講演会	丸亀市		事務局長	丸畠 望
"	業界研究合同企業セミナー	善通寺市		企画部長	合田香織
12月3日	部落解放香川県講演会	高松市		事務局長	丸畠 望
12月7日	中讃保健福祉圏内連絡会	丸亀市		本部長	中川芳栄
12月7~8日	次世代リーダー経営品質向上勉強会		東京都	事務局長	丸畠 望
12月8日	まんのう町社会福祉大会	まんのう町		理事長	長谷川智一
12月18日	都道府県経営協セミナー(後期)	高松市		理事長	長谷川智一
"	"	"		本部長	中川芳栄
12月21、26日	介護支援専門員再研修Aコース	"		涉外課長	谷口雅宣
1月9,11,13,23,25,29日	"	"		涉外課長	谷口雅宣
1月9~10日	香川県認知症対応型サービス事業開設者研修	"		理事長	長谷川智一
1月24日	まんのう町健康・福祉まつり実行委員会	まんのう町		事務局長	丸畠 望
1月30日	四国経営品質協議会定例会	高松市		事務局長	丸畠 望
"	"	"		企画部長	合田香織
2月13日	まんのう町指定管理者評価委員会	まんのう町		本部長	中川芳栄
"	"	"		事務局長	丸畠 望
2月21日	114医療・介護セミナー	高松市		本部長	中川芳栄
"	認知症カフェ事業相談員等連絡会	まんのう町		事務局長	丸畠 望
2月22日	公正採用選考人権啓発推進員研修会	丸亀市		事務局長	丸畠 望
2月27日	災害福祉支援セミナー	高松市		事務局長	丸畠 望
3月1,5,8,12,16,19,23日	介護支援専門員再研修Aコース	"		涉外課長	谷口雅宣
3月8日	健康経営と働き方についてのセミナー	"		企画部長	合田香織
3月11日	香川県小規模法人等ネットワーク推進事業実践報告会	"		事務局長	丸畠 望
3月12日	新たな外国人材受入れに係る制度説明会	"		事務局長	丸畠 望
3月14日	香川県経営協総会	"		本部長	中川芳栄
3月19日	経営品質協議会 オープンセミナー	高松市		本部長	中川芳栄

社会福祉法人正友会

職員採用説明会

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
7月3日	福祉のしごとサポートフェア(丸亀会場)	丸亀		企画部長	合田香織
7月24日	福祉の職場説明会(高松会場)	高松		企画部長	合田香織
9月27日	障害者就職面接会	宇多津		本部長	中川芳栄
"	"	"		企画部長	合田香織
10月26日	高齢者対象就職説明会	丸亀		企画部長	合田香織
11月5日	若者就職説明会	丸亀		企画部長	合田香織
1月31日	福祉のしごとサポートフェア	高松		事務局長	丸畠 望
"	"	"		企画部長	合田香織
3月19日	かがわーくフェア(春の就職面接会 & 企業説明会)	高松		事務局長	丸畠 望
"	"	"		企画部長	合田香織

まんまんカフェおよびさん 平成30年度 実績

毎月第4土曜日 13:30~15:30 会場…よりあいデイサービスフロア (参加人数にはボランティアも含む)

開催日	担当	参加者数	参加職員	内容
4月28日(土)	やすらぎ荘	17	6	認知症研修(認知症の症状)、桜餅作り
5月26日(土)	満濃荘	17	8	認知症についての話し(認知症ってなに?) 若返るおやつの紹介
6月23日(土)	仲南荘	17	6	認知症講座(認知症の方の想い) 牛乳パックを使った小物入れ作り
7月28日(土)	よりあい	18	6	認知症の話し(認知症と物忘れ)、認知症チェック 介護予防体操、フルーツヨーグルト作り
8月25日(土)	やすらぎ荘	19	6	認知症研修(認知症の支援)、健康体操 布と折り紙を使った作品作り
9月22日(土)	満濃荘	17	9	認知機能ミニ診断 季節の果物を使ったおやつを食べながらの茶話会
10月27日(土)	よりあい	18	5	認知症相談事例の紹介 タングラムパズルの手作りとパズル遊び
11月24日(土)	仲南荘	20	5	認知症と法律の話し(成年後見制度について) クリスマス飾り作り
12月22日(土)	やすらぎ荘	24	6	認知症についての研修(認知症と災害) ミニ門松とどんぐりのいのしし作り
1月26日(土)	満濃荘	17	8	認知症講座(認知症と食事) 特殊詐欺の手口について劇にて紹介 歌と健康体操
2月23日(土)	よりあい	24	5	認知症講座(認知症と施設) 手作りスイーツ作り(チョコチップ・クッキー) 能力を高めるコツ(認知症を防ぐ簡単動作)
3月23日(土)	仲南荘	12	4	認知症とお金にまつわる話し、曲に合わせての体操 ゲーム感覚の体を使ったレク

地域との交流

開催日	交流者名	人数	参加職員	内容
6月24日(日)	吉野地区の地域住民	60	8	「吉野支部ボランティア集会」 福祉避難所についての説明 介護教室(高齢者疑似体験、ポジショニング体験、車いす・リフト車の体験)
8月22日(水)	吉野地区の小学生と保護者	28	6	「吉野公民館出前講座」 リフト機器の体験、介護食体験、高齢者〇×クイズ
9月15日(土)	ふれあい祭り来場者		5	香川県農協協同支店地域ふれあい祭りに参加 介護相談窓口、スライドショー(正友会の紹介)を実施
11月19日(月)	香川県グラウンドゴルフ協会所属団体	219	21	まんのう町かりんの丘公園にて正友会杯グラウンドゴルフ交流大会を開催
12月2日(日)	四條地区の地域住民	80	5	「四條公民館 防災訓練」 車椅子操作の講習
3月16日(日)	福祉まつり来場者		4	まんのう町健康・福祉まつりに参加 正友会クイズ、スライドショー(正友会の紹介)を実施

II. 特別養護老人ホーム

満濃荘

(1) 介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業

施設全体で腰痛予防に取り組みました。介助者自身の負担を軽減するノーリフティング介護技術の習得と実践を進め、また職種ごとの腰痛リスクを洗い出し、改善していきました。個人の意識によるところも大きく、継続することの難しさを痛感しました。

2名の外国人留学生は無事に介護福祉士養成校に進学が決まりました。また次年度も新たな留学生を受け入れる予定です。

介護老人福祉施設

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・利用に至る経緯や生活環境、身体状況をご利用前にうかがい、施設での生活に馴染めるよう関係各部署に伝えました。
- ・ご利用者、ご家族へ必要な情報を提供できるように、それぞれの職種が連携してご家族に情報伝達を行いましたが、言葉の使い方などで伝えたいことが上手く伝わらないこともあります。伺ったご意向に対しては多職種が同じ対応をとれるよう工夫しました。
- ・ノーリフティング基礎介護技術習得のため介護職全員に研修を行い、ユニットごとに評価を実施しました。まだ全員の評価が終了しておらず、引き続き実施していきます。

2. 健康と機能維持に向けた関わり

- ・多職種との連携、情報共有を図ってご利用者の状態を把握し、その方の状態に合わせた機能維持、健康維持ができるようケアプランを作成しました。
- ・日頃の生活においてご自分でできることは自分で行うことを基本として日々関わると共にケアプランに基づいた機能訓練を行い、身体機能の維持を行いました。
- ・健康面では主治医の指示の下、日々の健康管理を行い、状態変化時には主治医とご家族に報告を行い、意向を伺いながら進めました。

3. 食生活の充実

- ・委託先栄養士と連携することで、献立には旬の食材を取り入れ、季節を感じていただける食事を提供しました。
- ・畑で育てた野菜をご利用者と収穫しました。ご利用者から野菜の育て方や調理法について教えていただいたら、一緒に調理し食べることで更に会話も広がりました。
- ・落ち着いて食事が摂れるようにテーブルを囲む仲間の配置を随時、見直しました。
- ・毎月の栄養ケアカンファレンスにて、ご利用者の食事状況や体重の推移等から、状態に応じた食事形態の検討や栄養補助食品を提供しました。

4. 適切な相談支援

- ・サービスご利用前の相談時には、施設内を案内することで、実際の雰囲気を感じていただけるよう配慮しました。
- ・入所やショートステイのご利用前や開始後の相談に適宜対応しました。サービス内容について一度の説明でご理解しにくい点は、面会時や電話などの機会に改めて説明しました。

- ご利用者やご家族の意向に対して、チームや各部署と共有しながら私たちができる支援を考え対応しました。
- 挨拶や普段の会話を大切にし、関わりの中から汲み取った要望をサービス計画に反映させました。

5. 積極的な地域社会との交流

- 認知症カフェを含む地域との交流の機会に今まで参加したことのない職員へ声をかけ、なるべく多くの職員が参加、体験することで地域とのつながりを感じることができました。
- 野菊の会との意見交換会を年2回行いました。それに加え、毎月のうどん交流会後の定例会に施設からも参加させていただき、意見交換する頻度を増やすことでボランティア活動を行っての声や地域住民としての声を伺うことができました。

6. 職員の育成と働きやすい職場環境づくり

- ノーリフティングケアの取り組みにおいて、車椅子や移乗用のスライディングボードなどの福祉用具を随时導入し、ハード面の環境整備を着実に進めました。
- ユニット会や各部署会などで、お互いが意見を言いやすいよう普段からのコミュニケーションを大切にすることを意識しました。
- 抱えている悩みなどをチームや上司が隨時相談できる機会は増えましたが、日頃からのコミュニケーションがまだまだ不足しているのが課題です。

7. 平成30年度委員会活動

◇研修委員会

- 年間計画に沿って研修を実施することができました。介護職員の研修方法を見直したことで多くの職員が研修を受け、職務上必要な技術や知識の確認をすることができました。

◇事故防止検討委員会

- 事故分析モニタリングシートを活用しながら事故の振り返りを行いましたが、記入忘れがありきちんと活用できたとはいえない状況でした。事故の再発を防ぐために、モニタリングシートをどのように活用すべきか、他の方法を検討する必要があるのかという点が課題として残りました。
- ヒヤリハットの啓発を毎月の部署会で実施するよう決定しましたが、部署によって報告件数にバラつきが出ました。ヒヤリハットへの意識を保ち続けることや情報の共有と活用が課題です。
- 重大事故に繋がりやすい転倒・転落事故についての資料を作成し、振り返りと意識付けを行いました。次年度もご利用者の安心と安全に留意し、重大事故の防止に取り組みます。
- 火災発生時の簡易行動マニュアル案を作成しました。3月に実施した防災訓練での意見を取り入れ、実用性のあるマニュアルを作成していきます。

◇C S委員会

- ・ご利用者アンケートにていただいたご意見の中から改善の必要なことについて検討し、対応内容を回答にてお返ししました。
- ・ご意見受付書の対応が継続できているかを定期的に確認しました。

◇業務改善委員会

- ・各部署においてマニュアルの更新を行いました。また、事故やご意見を受けて隨時、マニュアルの確認や更新を行うことができました。
- ・生活環境の整備については、家族アンケートの回答を参考に、居室などの清掃を徹底するよう改めて周知を行いました。また修理が必要な箇所が速やかに改善できるよう情報共有を行い、進めることができました。

◇広報委員会

- ・広報誌「あやとりだより」を年2回発行することができました。レイアウトや掲載する記事を工夫することで充実したものになりました。
- ・ホームページの「窓」も行事だけではなく研修やカフェの情報を更新し、より施設内の活動を知っていただける内容にすることができました。

◇身体拘束廃止委員会

- ・身体拘束において「スピーチロック」に重点を置き、研修を行いました。普段の声掛けにおいて、なにげなく使っている言葉もスピーチロックに当たる可能性があることを全職員で理解しました。
- ・虐待に関しては、内容や種類だけではなく「なぜ」虐待が起きるのかなど、違う視点から考える研修を行いました。

◇安全委員会

- ・認定特定行為従事者研修を行っていましたが、対象者不在となり中断している状況です。資格保持者の実技研修については年度はじめにきちんとした計画を立てていなかったため4名しか実施することができませんでした。

◇感染予防対策委員会

- ・計画通り年4回の感染に関する研修を実施することができました。外来者及び面会者の手洗い、うがいの実施も受付での協力により実施できました。
- ・インフルエンザ罹患者が出た時には終息するまで毎日、感染対策委員会を開催し、対応策の確認や対象者の状態を共有するなどを行いました。面会制限を行いましたがご家族や外来者のご理解とご協力をいただき、拡大を防ぐことができました。

◇褥瘡・拘縮予防委員会

- ・状況確認シートを用いてご利用者に適した安全な介助方法を検討し対応しました。ご利用

者に安楽な姿勢で生活していただけるように日頃の状態観察をしっかりと行い、変化に応じて早期対応を行いました。

- ・ポジショニングの技術が習得できるように、ノーリフト基本技術の評価を行いましたが、全職員の評価には至っていないので継続していきます。
- ・腰痛アンケートを実施し、結果をもとに腰痛が軽減できるような取り組みを労働安全衛生委員会や他部署と共に考え改善しました。

◇労働安全衛生委員会

- ・自分自身のストレス状態を把握するためのストレスチェックを実施しました。
- ・部署別の腰痛アンケートで表出した各部署の課題について改善できるよう取り組みましたが、時間の経過に伴い、疎かになることもあります、各自の意識が重要であることを再認識しました。
- ・安全な職場するために年に2回、施設内の危険個所を点検し、不安全箇所を改善することができました。

◇給食委員会

- ・ご利用者や各部署からの意見や要望を委託先栄養士に伝え、味付けや調理法などを検討しました。おいしい食事が提供できるよう改善に取り組みました。

特別養護老人ホーム満濃荘

施設利用状況

入所	退所					月間空床率	延べ利用者数		
		死 亡		長期入院	施設間移動				
		施設内	病院						
4月	1	1	0	0	0	1	2.1	2390	
5月	3	1	1	0	0	2	4	2458	
6月	0	1	0	0	0	1	0.9	2399	
7月	1	0	0	0	0	0	0.4	2474	
8月	1	1	0	0	0	1	0.2	2480	
9月	0	0	0	0	0	0	3	2400	
10月	1	1	0	0	0	1	3.1	2471	
11月	0	0	0	0	0	0	1.7	2400	
12月	1	3	0	0	0	3	2.6	2436	
1月	4	2	1	0	1	4	3.7	2441	
2月	3	3	0	1	0	4	4.5	2208	
3月	4	0	0	0	1	1	2.3	2466	
計	19	13	2	1	2	18		29023	

介護度別	平成30年度末				年間延べ利用者数
	男	女	計	比率	
要介護 1	1	2	3	3.8	1421
要介護 2	2	6	8	10.0	3545
要介護 3	13	18	31	38.8	9203
要介護 4	4	22	26	32.5	9791
要介護 5	1	11	12	15.0	5063
計	21	59	80	100	29023
	平均	3.5			

市町別	年間		
	平成30年度末	利用者数	入所数
まんのう町	70	17	14
丸亀市	3	0	1
善通寺市	2	0	0
三豊市	2	2	2
琴平町	2	0	1
姫路市	1	0	0
計	80	19	18

外泊・入院の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外泊	1	2	0	0	1	0	1	0	0	3	0	0
入院	40	75	21	4	5	73	68	40	37	50	69	43

年齢分布

年 齢	70歳未満	70歳台	80歳台	90歳台	100歳以上	計	平均	最高齢	最若齢
男性	0	3	9	9	0	21	85.6	96	71
女性	0	7	21	29	2	59	90.3	103	76
計	0	10	30	38	2	80	89.0		

認知症高齢者の日常生活自立度

	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M
人 数	3	1	6	22	19	13	15	1

入所平均在所期間

男 性	2年2か月
女 性	4年5か月
全 体	3年6か月

特別養護老人ホーム満濃荘

診療科別往診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	5	7	6	6	6	5	7	5	8	6	10	5	76
整形外科	2	2	4	2	2	1	3	1	3	2	1	1	24
眼科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
歯科	4	5	5	5	4	4	7	4	5	4	3	4	54
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
合計	14	17	18	16	15	13	20	13	19	15	17	13	190

診療科別受診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	9	8	12	9	9	8	15	10	9	16	7	16	128
整形外科	0	1	2	2	1	0	1	1	2	3	2	1	16
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	2	1	0	1	1	1	1	1	1	1	0	0	10
歯科	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	4
外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	2	2	6	2	2	2	1	4	0	0	0	1	22
泌尿器科	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
脳神経外科	0	1	0	0	1	1	1	2	2	0	1	2	11
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	13	13	23	14	14	12	22	18	14	20	10	21	194

リハビリテーション実施状況

種目	ホットパック	マイクロ波	ハドマー	足マッサージ器	マッサージチェア	平行棒歩行訓練	杖・歩行器歩行訓練	筋肉運動	滑車運動	生活リハビリ	入浴時運動	RO時体操	おしごり巻き等作業	園芸活動
対象者数	40	7	41	1	1	6	1	5	29	0	0	43	9	0

食事形態の状況

	普通食	きざみ食	極きざみ食	つぶし食	経管栄養	合計
平成30年度末	17	21	21	15	6	80

栄養マネジメント実施者数

	低リスク	中リスク	高リスク	合計
平成30年度末	50	9	0	59

職員研修派遣状況

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
4月4日	仲多度南部危険物安全協会第1回理事会	琴平町		施設長	植野哲男
4月24日	長尾長生会総会	まんのう町		施設長	植野哲男
〃	施設ケアを変えるための問題解決セミナー 高知県施設見学		高知県	主任介護職員	村上由佳
〃	〃		〃	〃	吉田昂史
5月9日	認定調査員新規研修会	高松市		生活相談員	前田一樹
5月10日	社会福祉法人サンシャイン会 講師派遣	小豆		通所統括課長	篠原匡生
5月15日	まんのう町・琴平町主任介護支援専門員合同連絡会	琴平町		居宅支援課長	小亀育枝
5月18日	社福懇JQR共通職員意識調査 結果報告説明会		東京都	施設長	植野哲男
5月18日	レクリエーション・アクティビティ研修会	高松市		通所看護職員	小澤 孝
5月19日	まんのう町社協長炭支部総会	まんのう町		施設長	植野哲男
5月22日	四国経営品質協議会定例会	高松市		施設長	植野哲男
〃	琴平安全運転管理者協議会通常総会	まんのう町		施設長	植野哲男
5月24日	まんのう町福祉避難所協定式	まんのう町		施設長	植野哲男
5月24日・31日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ 更新に係る研修	高松市		介護課長	石川智恵美
5月25日	仲多度郡南部危険物安全協会定時総会	琴平町		施設長	植野哲男
〃	〃	〃		機能訓練指導員	中浦雅夫
5月29日	介護施設における医療行為を安全に実施するための施設長研修会	高松市		施設長	植野哲男
〃	香川県社会福祉法人経営青年会第1回総会	高松市		通所統括課長	篠原匡生
6月2・11・13日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ 更新に係る研修	高松市		介護課長	石川智恵美
6月5日	中讃地域の主任介護支援専門員連絡勉強会	丸亀市		居宅支援課長	小亀育枝
6月6日	まんのう町野菊の会総会	まんのう町		施設長	植野哲男
6月8日	喀痰吸引等研修事業指導看護職員等フォローアップ研修	高松市		看護職員	森本美香
6月7日・8日	施設等新任職員研修会	高松市		介護職員	山田美保
〃	〃	高松市		介護職員	森岡隆広
6月9日・10日	ノーリフティング基本技術セミナー		高知県	主任介護職員	西山梨絵
6月10～12日	おむつフィッター2級A講座		京都市	主任介護職員	邊見麻衣子
6月16日	平山北地区自治会での講話	まんのう町		統括課長	小嶺 輝
6月20・23・29・30日	介護支援専門員専門研修課程Ⅰ 更新に係る研修	高松市		介護支援専門員	藤原万寿代
6月29日	仲多度南部危険物安全協会実技研修会	まんのう町		施設長	植野哲男
7月3日	仲多度南部在宅医療・介護連携推進研修会	まんのう町		介護支援専門員	鎌田百絵
〃	福祉のしごとサポートフェア(丸亀会場)	丸亀市		介護職員	小松智紀
7月5・9・12・16・19・23・26・	香川県喀痰吸引等研修事業	高松市		主任介護職員	畠中八重子
7月7・11・18・24日	介護支援専門員専門研修課程Ⅰ 更新に係る研修	高松市		介護支援専門員	藤原万寿代
7月9日	まんのう町長炭支部 七夕の集い	まんのう町		施設長	植野哲男
7月11日	四国経営品質協議会第定例会		徳島県	施設長	植野哲男
7月11～12日	社会福祉懇談会総会・経営セミナー		東京都	通所統括課長	篠原匡生
7月14～15日	ノーリフティング基本技術ケアセミナー		高知県	主任介護職員	西山梨絵

職員研修派遣状況

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
7月17日	施設ケアを変えるための課題解決セミナー	高松市		統括課長	小嶺 輝
"	"	"		主任介護職員	吉田昂史
7月19日	介護支援専門員連絡会	琴平町		介護支援専門員	長尾めぐみ
7月23~27日	香川県認知症介護実践者研修	丸亀市		介護職員	細川知史
7月24日	福祉の職場職場説明会(高松会場)	高松市		介護職員	小松智紀
"	"	"		"	福家加奈
7月26日	対人援助技術専門研修会	"		"	出淵麻莉
7月27日	都道府県経営協セミナー(前期)	高松市		施設長	植野哲男
"	香川県喀痰吸引等研修事業における指導者打合せ	"		看護職員	森本美香
8月1日	介護技術特別研修会	"		介護職員	福家加奈
8月3・7・24日	香川県喀痰吸引等研修事業	"		主任介護職員	畠中八重子
8月7日	琴平町・まんのう町主任介護支援専門員合同連絡会	まんのう町		居宅支援課長	小亀育枝
8月7・24日	香川県喀痰吸引等研修事業演習	高松市		看護職員	森本美香
8月17日	香川県小規模法人等ネットワーク推進セミナー	"		通所統括課長	篠原匡生
8月21日	給食施設管理者等研修会	丸亀市		栄養士	岡崎円香
8月24日	高齢者福祉施設等職員研修会	高松市		主任介護職員	吉田昂史
8月26~28日	おむつフィッターナース講座		京都市	主任介護職員	邊見麻衣子
8月27日	香川県認知症介護実践者研修	丸亀市		介護職員	細川知史
8月31日	香川県喀痰吸引等基本研修 補講及び再試験	高松市		主任介護職員	畠中八重子
9月3日	"	"		"	"
9月7日	福祉サービス苦情対応研修会	"		介護職員	武田くるみ
9月10~14日	香川県認知症介護実践リーダー研修	"		主任介護職員	西山梨絵
9月11日	認定調査員現任研修会	"		介護支援専門員	鎌田百絵
"	"	"		"	長尾めぐみ
"	"	"		"	藤原万寿代
"	"	"		支援課長	溝渕友香理
"	"	"		生活相談員	山下智美
9月14日	中堅職員研修会	"		介護職員	三宅量子
"	介護職員のための喀痰吸引等フォローアップ研修	高松市		主任介護職員	山元郁美
9月19日	安全運転管理者講習	まんのう町		施設長	植野哲男
9月20日	認定調査員現任研修会	高松市		統括課長	小嶺 輝
"	"	"		介護課長	石川智恵美
"	"	"		生活相談員	前田一樹
"	介護予防・日常生活支援総合事業説明会	丸亀市		通所生活相談員	加藤玲子
9月20~21日	全国社会福祉法人経営者大会		長野県	通所統括課長	篠原匡生
9月21日	喀痰吸引等研修事業指導看護師フォローアップ研修	高松市		看護職員	森本美香
9月26日	香川県認知症介護基礎研修	丸亀市		通所生活相談員	葛原信子
10月1~4・29	香川県認知症介護実践リーダー研修	"		主任介護職員	西山梨絵

職員研修派遣状況

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
10月10日	香川思いやりネットワーク事業担当者連絡会	高松市		統括課長	小嶺 輝
"	中讃地域の主任介護支援専門員連絡勉強会	綾川町		居宅支援課長	小亀育枝
10月12~13日	オールジャパンケアコンテスト		鳥取県	介護職員	橋本千生
10月14~16日	おむつフィッター2級O講座		京都市	主任介護職員	邊見麻衣子
10月15日	ふるさと祭り実行委員会	綾川町		施設長	植野哲男
10月18~19日	中国・四国地区社会福祉法人経営者セミナー 中国・四国ブロック経営青年会セミナー		山口県	通所統括課長	篠原匡生
10月19日	オイスカ四国のつどい	高松市		施設長	植野哲男
10月22~26日	香川県認知症介護実践者研修	丸亀市		通所生活相談員	加藤玲子
10月27日	オイスカふるさと祭り2018	綾川町		施設長	植野哲男
"	"	"		通所統括課長	篠原匡生
"	"	"		生活相談員	前田一樹
11月1日	香川県介護支援専門員実務研修 実習指導者等研修会	高松市		居宅支援課長	小亀育枝
"	四国経営品質協議会 定例会	"		支援課長	溝渕友香理
11月5~6日	施設ケアを変えるための課題解決セミナー	"		主任介護職員	西山梨絵
11月6~7日	社会福祉懇談会 経営セミナー・臨時総会		東京都	通所統括課長	篠原匡生
11月7日	まんのう町・琴平町主任介護支援専門員合同連絡会	琴平町		居宅支援課長	小亀育枝
"	香川大学サテライトセミナー～流行性感染症とその予防～	まんのう町		介護職員	守家太郎
11月8日	健康・福祉まつりについて意見交換および法人後見制度に係る研修会	"		通所統括課長	篠原匡生
11月26日	香川県認知症介護実践者研修	高松市		通所生活相談員	加藤玲子
12月5日	介護支援専門員連絡会	琴平町		介護支援専門員	藤原万寿代
12月8日	まんのう町社会福祉大会	まんのう町		施設長	植野哲男
12月11日	香川県老人福祉施設協議会研究大会	"		施設長	植野哲男
"	"	"		介護職員	出淵麻莉
"	香川県認知症介護基礎研修	"		介護職員	奥野早彩
12月17日	認知症セミナー	"		栄養士	岡崎円香
"	施設ケアを変えるための課題解決セミナー	"		主任介護職員	西山梨絵
12月19日	腰痛予防対策講習会	"		主任介護職員	吉田昂史
12月23~24日	介護支援専門員更新研修(実務経験者)	"		介護職員	矢野吏香
12月25日	四国医療福祉研究発表会	"		介護課長	石川智恵美
1月6~26日	介護支援専門員更新研修(実務経験者)	"		介護職員	矢野吏香
1月18日	メンターモデル制度導入支援研修	丸亀市		統括課長	小嶺 輝
1月24日	まんのう健康・福祉まつり実行委員会	まんのう町		通所統括課長	篠原匡生
1月29日	仲多度南部危険物安全協会 理事会	琴平町		施設長	植野哲男
1月30日	四国経営品質協議会 定例会	高松市		通所統括課長	篠原匡生
"	"	"		支援課長	溝渕友香理
1月31日	中讃高齢者保健福祉圏域連絡会	丸亀市		施設長	植野哲男
2月4日	施設ケアを変えるための課題解決セミナー	高松市		主任介護職員	西山梨絵
2月5日	琴平町・まんのう町主任介護支援専門員合同連絡会	琴平町		居宅支援課長	小亀育枝

職員研修派遣状況

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
2月14日	介護予防・日常生活支援総合事業説明会	三豊市		生活相談員	三角龍史
2月14~15日	顧客価値経営フォーラム		東京都	統括課長	小嶺 輝
2月21日	認知症カフェ事業相談員等連絡会	まんのう町		通所統括課長	篠原匡生
2月26日	メンター制度導入支援研修	丸亀市		統括課長	小嶺 輝
2月27日	介護支援専門員更新研修(実務経験者)	高松市		介護職員	矢野吏香
"	災害福祉支援セミナー	"		通所統括課長	篠原匡生
"	仲多度南部在宅医療・介護連携推進会議	琴平町		生活相談員	前田一樹
3月6日	香川短期大学実習指導者会	宇多津町		介護課長	石川智恵美
3月6・9・10・16・18・21	介護支援専門員更新研修(実務経験者)	高松市		介護職員	矢野吏香
3月11日	香川県小規模法人等ネットワーク推進事業実践報告会	"		通所統括課長	篠原匡生
"	就活開幕☆LIVE	"		介護職員	小松智紀
3月20日	集団指導(介護保険施設等)	"		支援課長	溝渕友香理
3月22日	集団指導(通所介護)	"		生活相談員	加藤玲子
3月25日	集団指導(地域密着型)	"		通所統括課長	篠原匡生
"	施設ケアを変えるための課題解決セミナー	"		主任介護職員	西山梨絵
3月26日	集団指導(居宅介護支援)	"		居宅支援課長	小亀育枝

施設内研修等(防災訓練を含む)

月 日	研修内容	参加人員	講 師
5月18日、23日	認知症研修	36	研修委員会
5月14日～6月16日	手洗い研修	82	感染予防対策委員会
5月31日	防災訓練(夜間想定)	35	防火管理者(施設長)
5・6月ユニット会	緊急時対応研修	全介護職員	各ユニット主任
6月～	平成30年度採用者対象 介護技術研修	2	各エルダー職員
6月15日～25日	危険予知研修	21	リスクマネジメント委員会
7月6日	風水害訓練(土器川氾濫想定、初動連絡体制の確認)	4	防火管理者(施設長)
7月19日・25日	食中毒研修	28	各ユニット主任
7・8月ユニット会	医学一般研修	全介護職員	各ユニット主任
8月各部署会	褥瘡予防研修	全職員	各ユニット主任・各部署長
8月13日・17日	身体拘束・スピーチロック廃止研修	全職員	身体拘束廃止委員会
8月8日・22日	AED心肺蘇生研修	37	仲多度南部消防署
9・10月ユニット会	嘔吐物処理・対応研修	全介護職員	各ユニット主任
9月13日・10月18日	疥癬予防研修	18	感染予防対策委員会
9月各部署会	苦情対応研修	全職員	CS委員会
10月15～30日	AED心肺蘇生研修	17	介護課長・主任
11月1日	地震訓練・屋内消火栓実技訓練	35	防火管理者(施設長)
11月16日～26日	ヒヤリ・ハット研修	34	リスクマネジメント委員会
11・12月ユニット会	介護保険制度研修	全介護職員	各ユニット主任
1月各部署会	虐待防止研修	全職員	各ユニット主任・各部署長
1月18日～30日	プライバシー・個人情報保護研修	35	研修委員会
1・2月ユニット会	ターミナルケア研修	全介護職員	各ユニット主任
3月28日	防災訓練(日中想定)	33	防火管理者(施設長)
3月各部署会	ポジショニング研修	全職員	各ユニット主任・各部署長

実習等受け入れ状況

実習者名(団体名)	期間	実人員	延日数
四国医療福祉専門学校	5月24日～6月21日	1	20
香川短期大学	8月6日～8月30日	1	19
香川短期大学	10月30日～11月3日	1	5
香川短期大学	1月31日～2月20日	1	15

事故報告統計データ(年間件数)

【1】事故報告

①事業別

事業	件数
施設(特養・GH・短期)	609
在宅(通所・居支・その他)	41
計	650

②発生場所別

場所	件数
居室	213
廊下	43
浴室	46
脱衣室	28
ホール	141
トイレ	69
食堂	0
玄関	0
施設外	20
その他	90
計	650

③事故内容別

事故の内容	件数
転倒	128
転落	95
誤飲・誤嚥	3
異食	0
服薬管理	12
自傷行為	0
徘徊	11
入所者間トラブル	2
器物損壊	24
皮下出血	170
紛失	10
金銭管理の事故	0
経管自己抜去	0
送迎・移送中の事故	11
職員の介助中の事故	10
私物返し忘れ	58
表皮剥離	59
その他	57
計	650

④発生時間帯別

時間帯	件数
朝	8時～10時
	10時～12時
昼	12時～14時
	14時～16時
夕	16時～18時
	18時～20時
夜間	20時～22時
	22時～24時
	0時～2時
	2時～4時
早朝	4時～6時
	6時～8時
計	650

⑤障害等

障害分類名	件数
骨折	11
打撲	25
皮下出血	190
すり傷	29
裂傷	20
呼吸困難	3
嘔吐	0
表皮剥離	68
精神不安定	0
外傷等なし	164
利用者の物品管理	71
送迎関係	9
服薬・異常なし	12
その他	65
計	667

【2】ヒヤリハット報告

①発生月別

月別	件数
4月	64
5月	126
6月	101
7月	127
8月	113
9月	106
10月	126
11月	146
12月	134
1月	127
2月	77
3月	54
計	1301

⑥発生月別

月別	件数
4月	39
5月	55
6月	65
7月	54
8月	48
9月	62
10月	53
11月	56
12月	50
1月	62
2月	52
3月	54
計	650

⑦保険者への報告

内容	件数
入院等継続的な治療が必要となった事故	7
家族の申出により、苦情に結びつく可能性のある事故	0
介護上の事故等、その他の事故	1
計	8

ご意見受付数

	施設	短期入所	通所	居宅介護支援	その他	合計
①ケアの内容に関わる事項	2	2	4	0	4	12
②個人の嗜好・選択に関わる事項	0	1	0	0	0	1
③財産管理、遺産、遺言等	0	0	0	0	0	0
④制度、施策、法律に関わる要望	0	0	0	0	0	0
⑤その他	1	3	0	0	4	8
合 計	3	6	4	0	8	21

身体拘束の状況

平成30年度も年間を通じて該当される方はいませんでした。

今後も委員会活動等を通じ継続して取り組みます。

年間行事一覧

月	日	行 事 名 (内 容)	参加人数		家族等	ボランティア
			施設	通所		
4	6	花見(会食)	80	0	0	0
4	22	大正琴の集い	2	0	0	0
5	30	家族会(通所)	0	0	13	0
5	30	春の鮎焼き	80	22	13	0
6	3	笑みの集い	3	0	0	0
6	4	交通安全教室(通所)	0	21	0	0
6	8~12	梅雨外出	16	0	0	0
7	5,6	ひまわり観賞	10	0	0	0
7	28	仲南荘 夏祭り外出	5	0	0	0
8	18	夏の夕べ	80	0	40	30
9	21	芋掘り	6	0	0	0
9	29	家族会(前期)	21	0	0	0
10	4	運動会	80	0	0	0
10	8.9.11	ミニ運動会(通所)	0	60	0	0
10	24	秋のさんま焼き	80	24	0	0
11	5,7,9	紅葉外出	12	0	5	0
12	20	クリスマス会	80	21	2	12
12	27	もちつき	16	0	0	10
1	25	交通安全教室	0	18	0	0
2	8	節分	80	22	0	0
2	18~3/8	雛飾り	80	0	0	0
3	9	家族会(後期)	31	0	0	0
3	18~27	小春外出	11	0	0	0

月間定例行事・クラブ活動等(ボランティアによるものを含む)

	活動名	日 時	1回の平均 参加人数	ボランティア名等	内容
施設	音楽療法	第1・3水曜日	17	岩永様 他	
	散髪ボランティア	第2月曜日	10	為広様 他	散髪
	美容らん	第3水曜日	15	らんモバイルヘアーサロン	散髪、カラー、パーマ
	ハッピー散髪	第1水曜日	20	美容室ふじむら	散髪、カラー、パーマ
	茶華道	毎週水曜日	16	近藤様	
	手打ちうどん	第1月曜日	70	野菊の会	
	茶葉詰め	随時	4	黒木様	
	茶葉詰め・ガーゼたたみ	月2回	-	ふれあいグループ	
	花生け	月1回	-	安西様、長谷川様	
通所	運動、知能、創作レク	毎日	18		希望者のみ実施
	読経	毎日	17		希望者のみ実施
	誕生日会	誕生日前後の利用日	20		誕生日カードとプレゼント
	手作りおやつ	月1回	19		季節に応じた手作りおやつ調理を希望者と一緒に実施
	茶華道	毎週水曜	19	近藤様	
	手もみボランティア	月1回	18	仲善広域シルバー人材センター	会話とマッサージ
	紙芝居	月1回	19	紙芝居ボランティア	読み聞かせ交流
	ミュージックレクリエーション	月1回程度	23	笠井様	音楽と運動
	手品、カラオケ、踊り	月1回程度	21	なかよし会	
	踊り、歌の披露	随月	20	しあわせ会	
	踊り、歌の披露	年4回	22	すみれ会	
	フラダンス	年3回	24	仲善広域シルバー人材センター	
	踊り	年1回	22	大江戸玉すだれ	

地域との交流

月	日	内 容	参加人数		交流者名	人数
			施設	通所		
5	21	長尾会館ふれあいサロン(振り込め詐欺)	2	0	長尾地区の方々	18
6	6	長尾会館ふれあいサロン(七夕飾り作り)	1	0	長尾地区の方々	17
7	1	土器川河川一斉清掃	4	1	地域の方々	30
7	4	長尾会館ふれあいサロン(長炭小学校児童との七夕交流会)	1	0	長尾地区の方々	34
8	1	長尾会館ふれあいサロン(香川県警音楽隊演奏会)	1	0	長尾地区の方々	27
9	3	野菊の会意見交換会	2	0	野菊の会・まんのう町社協	6
10	27	オイスカふるさと祭り2018	2	1	オイスカ祭り来場者	/
12	5	長尾会館ふれあいサロン(クリスマス会)	1	0	長尾地区の方々	38
2	6	長尾会館ふれあいサロン(健康チェック)	1	0	長尾地区の方々	17
3	1	まんのう社協長炭支部ひな祭りのつどい	1	0	長炭地区の方々	30
3	4	野菊の会意見交換会	2	0	野菊の会・まんのう町社協	8
3	6	長尾会館ふれあいサロン(大人の塗り絵)	1	0	長尾地区の方々	18

カフェ・お茶会

月	日	種類	内容	参加人数	ボランティア数
7	4	満ごころカフェ	体の動かし方、七夕飾り作り、健康体操	13	0
12	5	満ごころカフェ	クリスマスケーキ作り、介護認定の話、健康体操	21	0
3	15	満ごころカフェ	認知症と食事、特殊詐欺の劇、音楽と体操	15	0

短期入所生活介護

- ご利用の際に生活状況、身体状況やご意向を確認し、サービスを提供させていただきました。
- 情報伝達や連携が不十分でケアの統一ができていなかった面がありました。より情報共有を密に行い、不十分な点を改善し今後のサービスに反映します。

延べ短期入所利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護	1505	1471	1494	1549	1558	1573	1527	1382	1493	1522	1426	1558	18058
要支援(介護予防)	14	17	19	26	19	31	20	26	42	53	55	48	370
合計	1519	1488	1513	1575	1577	1604	1547	1408	1535	1575	1481	1606	18428
利用率	92.1	87.3	91.7	92.4	92.5	97.2	90.7	85.3	90.0	92.4	96.2	94.2	91.8

介護度別利用状況

介護度	30年度末 登録人数	年間延べ 利用者数	比率
要支援1	0	0	0%
要支援2	3	370	2.0%
要介護1	14	2245	12.2%
要介護2	27	5148	27.9%
要介護3	25	5671	30.8%
要介護4	10	2968	16.1%
要介護5	10	2026	11.0%
合計	89	18428	100%

(2) 通所介護事業

満濃荘老人デイサービスセンター

ご家族、ご利用者の意向を伺いケアマネジャーとの連絡を密にし、職員全員が統一したサービスができるよう日常業務で使用する日報や申送りの改善を重ねました。職員が認知症カフェに参加し地域に情報発信しました。

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・ご利用者に余暇活動のニーズアンケートを行いました。次年度の余暇活動に反映していく予定です。
- ・ご利用者の状態変化時はご家族・ケアマネジャーに迅速に連絡するようにしました。また、誰もが対応できるよう職員間で情報の共有を行いました。
- ・ノーリフティング基礎技術研修を実施しましたが、技術向上とまでは至っていません。今後、基礎技術の向上を課題とします。

2. 健康支援機能向上訓練の充実

- ・自宅訪問時、ご利用者・ご家族からの要望を十分に確認できなかったことやチェックシートの記入方法の理解が不十分でした。新しい様式に変更するとともに職員への研修を行いました。様式変更を行ったことでより細かな情報収集をすることができ、計画に反映することができました。

3. 地域社会との関係を活かしたサービスの提供

- ・地域との交流機会となる認知症カフェに参加し、デイサービスで行っている活動内容などを発信することができました。また、参加者からご意見や提案をいただき、次の企画に反映させることができました。参加者からは「いつも楽しみにしている」との声をいただくことができました。

4. 職員の育成と働きやすい職場環境づくり

- ・ご利用者の状態把握に課題があったため、職員会にて意見交換を重ね、日報や申し送りなどの様式を見直すことで改善することができました。
- ・事故やヒヤリハットの振り返りを行うことで、事故に繋がる危険性の共通認識ができ、事故件数減少に繋がりました。しかし、環境面でのリスクの検討が進んでいないため今後の課題とします。

通所介護事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼動日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
利用実人員	75	78	80	79	79	77	79	80	80	76	76	74	933
利用延人数	599	631	594	608	628	562	599	607	619	563	563	586	7159
利用率 (月～金曜)	86.9	87.7	85.0	85.6	89.7	85.6	84.3	72.3	72.2	64.1	73.2	70.5	79.1
利用率 (土・日曜)	79.4	79.4	82.2	76.1	70.0	67.0	71.3	81.3	82.0	75.6	76.9	71.0	76.0

* 利用定員(月～金曜) 11月より、定員25名から30名に変更

介護度別利用状況

介護度	30年度末 登録人数	年間延べ 利用者数	比率
事業対象者(自立)	0	8	0.1%
要支援1	6	305	4.3%
要支援2	12	780	10.9%
要介護1	19	1870	26.1%
要介護2	23	2257	31.5%
要介護3	12	1241	17.3%
要介護4	3	315	4.4%
要介護5	5	383	5.3%
合計	80	7159	100%

(3) 居宅介護支援事業

1. 適切な業務管理の徹底

- ・昨年度集団指導にて説明があった新たな運営基準減算内容に即して契約書、重要事項内容を修正、業務マニュアルの様式変更も行い、適切な業務管理の徹底を図りました。

2. 業務改善への継続的な取り組み

- ・業務の目的を達成する為に業務の課題について全メンバーが意識共有できるよう、話し合いを重ね、継続的に取り組みました。モニタリングシートを一部修正することで業務の省力化に繋がりました。また、報酬改定に伴い、新たな様式の追加やその内容の修正を行いました。

3. 困難事例への積極的な対応

- ・困難事例については事業所内、法人内で事例検討を行い、地域包括支援センターに適宜、相談しながら進めました。段階を踏みながら課題整理を行う中で解決の糸口を見つけることもありました。

4. 関係機関との協力体制

- ・関係機関と相互交流を積み重ねることにより、信頼関係を構築しました。訪問時に把握したご利用者等の状態は主治医や歯科医師等、居宅サービス事業所へ情報提供しました。必要時、それぞれに対してケアプランの交付を行うこともありました。

5. 専門職としてスキルアップできる研修の充実

- ・介護支援専門員はその資質の向上の為に、個別の研修計画に基づき、実施しました。他法人の居宅介護支援事業所と共同の事例検討の場も持ちました。

居宅介護支援事業実績

市町別居宅サービス計画実績 (内要支援)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
まんのう町	79 (2)	81 (3)	85 (3)	80 (3)	80 (2)	77 (2)	79 (2)	78 (4)	75 (4)	75 (3)	71 (3)	66 (4)	926 (35)
琴平町	(2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	22 (24)
丸亀市	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	25 (0)
三豊市	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3 (0)
東みよし町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12 (0)
計	84 (4)	87 (5)	91 (5)	85 (5)	85 (4)	82 (4)	84 (4)	83 (6)	80 (6)	80 (5)	76 (5)	71 (6)	988 (59)

要介護度別状況 (平成30年度末)

介護度	作成者数
要支援1	2
要支援2	4
要介護1	26
要介護2	29
要介護3	9
要介護4	2
要介護5	5
計	77

支給申請の手続き代行及び認定調査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福祉用具支給申請	4	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	6
住宅改修支給申請	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
介護保険申請代行	2	3	2	2	4	4	3	3	6	6	1	1	37
介護保険認定調査	9	9	8	9	9	6	6	6	6	6	6	4	84

(4) その他の事業

1. 満濃荘老人介護支援センター

(1) 老人介護支援センター事業

- ・地域のサロンに参加し、長尾地区の方々や長炭小学校児童と一緒に月々の活動を行いました。また、施設入所やデイサービスの利用についての質問などに随時お答えしました。地域に出向くことで交流が少しずつ深まっています。
- ・施設で行っている「満ごころカフェ」のチラシを地域のサロンや公民館に置かせていただき案内を行いました。その結果、カフェに参加して下さる方も増えており、「楽しかった」「また参加させてもらいます」という声が聞かれました。

(2) 緊急通報体制事業

- ・地域の方が安心して過ごせるよう、緊急通報事業を実施しました。緊急時等は協力員だけでなく、まんのう町とも相談しながら対応することができました。

(3) 家族介護者交流事業

- ・平成29年度の参加者は23名と少なかったため、広報活動を積極的に行いました。今年度は徳島鳴門方面へ大勢の介護者の方（30名）に参加いただきました。参加者同士が、自宅での介護の悩みなどを相談され、「明日から、皆さんと一緒に頑張っていきたいと思います」と感想もいただきました。今回は、観賞するだけではなく、ストール作り体験もあり、楽しく交流が行えていました。

(4) おもいやりネットワーク事業

- ・まんのう町、琴平町の社会福祉協議会との法人間連携定例会で話し合われた内容を共有することができました。また、研修会に参加し、他関係者と意見交換を行いましたが、自施設での活動事例はなく、情報を得る場となりました。

2. 給食サービス事業

- ・栄養面に配慮し、おいしい食事が提供できるよう委託先栄養士と取り組みました。
- ・配食時にいつもと様子が違う場合はまんのう町に報告をしました。

3. 生きがい活動支援通所事業

- ・前年度から好評だった施設行事への参加や花見外出、買い物ツアーナどの企画も実施しました。ご利用者数の減少が続いていること、活動内容を含めた広報活動が課題です。

特別養護老人ホーム満濃荘

緊急通報装置 通報データ集計

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
緊急	救急車出動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	協力員対応	1	4	7	0	0	0	0	2	1	2	0	1	18
	誤 報	4	2	3	0	3	4	5	1	1	10	4	4	41
相談	相 談	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	0	0	5
	誤 報	0	0	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	4
テスト通報		0	0	11	0	24	3	0	3	0	2	3	2	48
電池切れ(停電含)		12	5	5	14	3	3	3	3	5	35	6	6	100
その他		0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	4
合 計		17	11	29	14	31	10	12	10	9	51	13	13	220

町別集計

	緊急通報	相談通報	その他	計
まんのう町	57	7	105	169
琴平町	2	2	47	51
合 計	59	9	152	220

在宅介護者のつどい実績

実施日	行き先	見学施設等	備考	人数
平成30年11月15日	徳島・鳴門方面	・鳴門渦潮クルージング ・藍住町歴史館ストール作り	●同行 :まんのう町1名 :正友会3名	30名

給食サービス・安否確認実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回 数	8	9	9	9	9	8	9	9	8	8	8	9	103
食 数	317	372	382	334	327	260	297	302	259	298	296	334	3778

生きがいデイサービス 利用実績

まんのう町

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	4	5	4	5	4	5	5	4	5	4	4	5	54
利用延人員	17	25	16	23	16	21	18	15	17	11	13	12	204
1日平均利用者	4.3	5.0	4.0	4.6	4.0	4.2	3.6	3.8	3.4	2.8	3.3	2.4	3.8

年間行事等実施状況

月	実施内容	備考(詳細)	参加人員
4	作品つくり	色塗りや貼り絵での作品つくり 「たけのこ堀り」	17
5	春の外出	ダイソーへの買い物外出	14
6	カレンダー作り	7月～9月のカレンダー作り	13
7	ひまわり観賞	仲南 ひまわり畑へ外出	13
8	収穫祭	施設の畑で採れた野菜を使っての料理	12
9	カレンダー作り	10月～12月のカレンダー作り	12
10	ミニ運動会	輪投げ、玉入れ、ボーリング等の体を動かすゲーム	10
11	買物外出	マルヨシ、マルナカへの買い物外出	11
12	カレンダー作り	1月～3月のカレンダー作り	11
1	作品つくり	干支(亥)の絵馬つくり	9
2	すごろく	すごろくゲーム(四国八十八か所めぐり)	9
3	カレンダー作り	4月～6月のカレンダー作り	12

III. 特別養護老人ホーム

仲南莊

(1) 介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業

施設は入退所の多い一年になりました。ご利用者の重度化がすすむ中で、ますます医療的ニーズへの対応が必要な方が増えており、主治医や近隣の医療機関との連携が大切になってきています。医療面だけでなく、介護においても、重度になってきたご利用者の状態に合わせて移乗技術や安楽な姿勢について考えていきました。

地元の方々とは、交流する機会が増えてきました。地域の中にある施設として、職員と地域の方々とが顔見知りになれるように、活動を続けていきました。

介護老人福祉施設

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・ご家族の面会時には、挨拶のみにならないように日常生活で起こったことを詳しくケース記録に残し、記録を確認しながら丁寧に説明できるようにしていました。短期利用者のご家族宛の手紙にも、利用状況がよく分かるように記録していました。
- ・ポジショニングについては、少しずつ考え方を理解しケアプランに取り入れることにより、マルチグローブ等の福祉用具を活用していました。技術の向上を目的に小人数で研修・評価をし、お互いに確認していました。まだまだ、全ての場面において実施できていません。

2. 健康と機能維持に向けた関わり

- ・ご利用者の状態変化に早く気付けるように職員間で情報収集し、異常時には、早めに主治医へ報告し指示を受け、必要な場合には医療機関への受診を行いました。
- ・緊急時には、ご家族の意向を聞き、早急に医師との連携を図りました。施設での対応を希望される場合は、施設で出来る範囲の医療の提供や、今後起こりうるリスクについて説明させていただき、その中でご家族の意向に添えるように対応していました。
- ・ご利用者の健康状態や拘縮のすすみ具合により、リハビリが思うように進みませんでしたが、無理のない範囲で行うことが出来ました。

3. 食生活の充実

- ・食事を楽しんでいただくために、旬の食材を使用した献立作成や手作り活動に取り組みました。
- ・栄養マネジメントは、ご利用者の食事摂取量や喫食状況を観察した上で、介護職・看護職の意見を作成しました。
- ・異物混入（毛髪、ビニール片）の事故が3件発生しました。その都度、厨房職員と対応策を確認し合い、再発防止に取り組みました。施設栄養士も厨房内の設備の不具合がないか点検をこまめに行っています。

4. 適切な相談支援

- ・サービス内容の説明は、契約時だけでなく、分からぬことや不安なことに対しては、ご利用後でも、その都度質問を受け、納得いただいた上でご利用いただけるように話し合つ

ていきました。

- ・新規ご利用者については、ミーティングで日常の生活動作やご本人・ご家族の意向も合わせて各部署の職員に紹介し情報を伝えました。サービス担当者会議などを通じて伺った情報から、職員間で統一した認識を持ち、サービスの提供につなげていきました。

5. 積極的な地域社会との交流

- ・地元自治会の用水清掃や神社清掃へは、昨年と異なる職員が参加でき、地域活動の大切さを体験できました。自治会の総会や敬老会にも参加し、自治会の方々との交流ができました。
- ・ひまわりの家は隔月ごとに実施することができました。職員の人数確保や地域の行事等を参加者と相談し、開催日を土曜日から平日に変更しました。参加人数が少ない月もありましたので、実施内容や地域への周知方法が課題です。

6. 職員の育成と働きやすい職場環境づくり

- ・仕事の中で求められていることを、主任・課長から職員へ随時伝えていました。主任の次の立場の職員を育てていくことが課題です。
- ・各種会議の中で発言は出ていますが、事前準備や新たな提案に繋がる意見は不十分です。
- ・下半期で、外国人の技能実習生を受け入れる予定でしたが、諸事情で受け入れ時期が延びました。生活習慣や文化などの、日本人とは違う受け入れ時の注意事項の周知は行いました。

7. 平成30年度委員会活動

◇研修委員会

- ・各委員会へ研修依頼をしていましたが、研修実施が遅れることがありました。担当者との実施予定の打ち合わせや、事前準備の確認など、積極的に関わませんでした。
- ・研修後のアンケートの回収が遅れることがありました。アンケート結果から研修ニーズを把握し、次の研修に活かしていくことが不十分でした。

◇事故防止検討委員会

- ・新しいモニタリング表について周知しました。記入できていない場合は声かけしていましたが、記入忘れも多く見られました。
- ・法人委員会で話し合った事故や感染の状況と対応策の案について、会議の中で周知していました。節約のアンケートを実施し、結果を周知しました。

◇苦情対応委員会

- ・ご意見受付書の対応策が継続できているか、定期的に委員会内で確認し、情報共有していました。
- ・苦情対応についての研修を実施し、ご意見の意義についての理解を深めることができました。

◇業務改善委員会

- ・現在の業務内容を確認し、業務マニュアルの見直し更新をしました
- ・通所と施設介護職員の休憩時間について検討し改善しました。その後の状況確認をしていきました。

◇広報委員会

- ・ホームページは、委員会で各月の担当者を決めて、行事や地域活動などの取り組みの情報を載せることができました。
- ・広報誌ひまわりだよりは、発行月が遅れましたが、年3回発行することができました。行事やポジショニングの取り組み、移動用リフトや介護方法の紹介、地域活動の取り組みを、ご利用者とご家族に伝えることができました。

◇身体拘束廃止委員会

- ・委員会を開催できなかった月もありましたが、会議資料として、新聞や事例を取り上げて、内容の濃いものを行うことができました。
- ・研修は、スピーチロックや身体拘束廃止についての意識や知識が深まるものになりました。

◇安全委員会

- ・毎月、喀痰吸引の必要なご利用者の状況把握を行いました。特定行為業務従事者に対し、2回の喀痰吸引実技研修を実施し、安全に喀痰吸引ができるように技術の確認を行いました。
- ・全職員を対象に、救命処置研修を実施し、知識・技術の再確認をすることができました。

◇感染予防対策委員会

- ・感染症の流行する時期の前には周知を行い、予防することができました。嘔吐物処理の研修も実施し、対応を確認することができました。
- ・冬季に、嘔吐者・インフルエンザ発症者が、職員・ご利用者にみられましたが、感染症の予防マニュアルに沿った対応を行い、施設内で広がることはありませんでした。

◇ポジショニング褥瘡予防委員会

- ・年間を通して、ポジショニング・ノーリフトケアについての知識や技術の伝達をしてきました。マルチグローブなどの福祉用具の使用が定着してきています。
- ・褥瘡に関しては発症も少なく、発症してしまった場合でも、早期に多職種で連携することにより、早い段階で回復しています。

◇衛生委員会

- ・職員が健康で働けるように、様々な情報を取り上げて話し合うことができました。会議の中では、産業医より専門的な意見を頂き、周知することができました。
- ・職員の健康診断やストレスチェックは予定通り行うことができました。健康指導が必要で

あつたり、高ストレスの診断の出た職員もいましたが、体調不良で長期休暇をする職員はいませんでした。

◇給食委員会

- ・介護職、看護職などから意見をいただき、料理の切り方、味付けの改善に取り組みました。
- 他施設と連携し、副食の刻み方を統一しました。
- ・委託業者の協力もあり、午前のおやつの牛乳をカルシウムを強化した乳飲料へ変更し、カルシウム摂取量を増加することができました。

特別養護老人木一ム仲南荘

施設利用状況

入所		退所				月間空床率	延べ利用者数		
		死 亡		長期入院	施設間移動				
		施設内	病院						
4月	2	1	0	0	0	1	4.1	1439	
5月	0	0	0	0	0	0	5.4	1472	
6月	2	1	0	1	0	2	2.5	1416	
7月	3	1	2	0	0	3	4.9	1474	
8月	1	2	0	1	0	3	2.3	1514	
9月	3	1	0	0	0	1	1.9	1471	
10月	1	0	1	0	0	1	0.4	1544	
11月	1	1	0	0	0	1	1.3	1480	
12月	0	0	0	0	0	0	1.7	1528	
1月	2	0	2	0	0	2	1.8	1522	
2月	1	1	0	0	0	1	2.6	1363	
3月	1	1	0	0	0	1	2	1518	
計	17	9	5	2	0	16	/	17741	

介護度別	平成30年度末				年間延べ利用者数
	男	女	計	比率	
要介護 1	0	0	0	0.0	0
要介護 2	1	0	1	2.0	792
要介護 3	3	9	12	24.0	4473
要介護 4	6	14	20	40.0	6424
要介護 5	1	16	17	34.0	6052
計	11	39	50	100	17741
		平均	4.1	/	

市町別	平成30年度末	年間	
		利用者数	入所数
まんのう町	44	14	14
琴平町	3	0	0
三豊市	3	3	2
計	50	17	16

外泊・入院の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外泊	4	6	3	5	4	5	6	5	4	6	3	5
入院	47	78	34	36	27	10	0	14	22	8	22	23

年齢分布

年齢	70歳未満	70歳台	80歳台	90歳台	100歳以上	計	平均	最高齢	最若齢
男性	0	2	4	4	1	11	87.1	100	72
女性	0	2	21	15	1	39	88.8	104	71
計	0	4	25	19	2	50	88.4	/	/

認知症高齢者の日常生活自立度

	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M
人数	2	1	0	12	14	7	10	4

入所平均在所期間

男性	3年8か月
女性	3年4か月
全 体	3年5か月

特別養護老人ホーム仲南荘

診療科別往診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	4	3	3	4	5	4	3	3	3	3	3	3	41
整形外科	2	2	4	2	2	1	3	2	3	2	1	1	25
眼科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
歯科	9	9	9	8	8	7	8	8	9	8	8	7	98
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
合計	18	17	19	17	18	15	17	16	18	16	15	14	200

診療科別受診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	12	9	14	12	5	12	18	13	13	16	9	14	147
整形外科	9	8	5	8	7	14	8	10	17	10	14	15	125
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
眼科	0	0	1	0	2	0	1	0	0	1	0	0	5
歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科	2	2	4	2	2	1	3	2	1	1	2	4	26
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
皮膚科	1	0	2	2	1	1	3	8	6	6	4	4	38
泌尿器科	2	2	3	2	2	5	6	2	4	5	5	6	44
脳神経外科	3	5	6	3	4	2	1	1	1	4	3	4	37
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	29	26	35	29	23	36	40	37	42	43	37	47	424

リハビリテーション実施状況

種目	ホットパック	マイクロ波	ハドマー	足マッサージ器	マッサージチェア	平行棒歩行訓練	杖・歩行器歩行訓練	筋肉運動	滑車運動	生活リハビリ	入浴時運動	RO時体操	ピニールたたみ等作業	園芸活動
対象者数	21	0	6	9	0	3	3	5	4	20	0	20	6	0

食事形態の状況

	普通食	きざみ食	極きざみ食	つぶし食	経管栄養	合計
平成30年度末	10	5	16	13	6	50

栄養マネジメント実施者数

	低リスク	中リスク	高リスク	合計
平成30年度末	28	14	3	45

職員研修派遣状況

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
4月24日	施設ケアを変えるための問題解決セミナー高知県の施設見学会		高知県	介護職員	白川晴奈
4月29日	福寿会(帆山老人会)総会	まんのう町		施設長	栗田猛
5月9日	認定調査員新規研修会	高松市		管理栄養士	中須加倫子
5月14日	施設ケアを変えるための問題解決セミナー	"		介護職員	白川晴奈
5月18日	レクリエーション・アクティビティ研修会	"		介護職員	田村愛
5月22日	香川県社会福祉法人経営青年会監事会	"		施設長	栗田猛
5月22日	琴平安全運転管理者協議会通常総会	まんのう町		施設長	栗田猛
5月24日	まんのう町福祉避難所協定式	"		施設長	栗田猛
5月25日	仲多度南部危険物安全協会定時総会	琴平町		統括課長	平田裕二
5月29日	介護施設における医療行為を安全に実施するための施設長研修	高松市		統括課長	平田裕二
5月29日	社会福祉法人経営青年会理事会・総会	"		施設長	栗田猛
6月5日	高知家ノーリフティングケア宣言!!		高知県	施設長	栗田猛
6月8日	喀痰吸引等研修事業指導者看護師等フォローアップ研修	高松市		看護課長	松下葉子
6月9日、10日	ノーリフティング基本技術セミナー		高知県	主任介護職員	山本丈
7月3日	仲多度南部在宅医療・介護連携推進研修会	まんのう町		生活相談員	真鍋貴司
7月10日	校外学習の事前準備及び高齢者福祉について	琴平町		統括課長	平田裕二
7月14日、15日	基本技術指導者養成セミナー		高知県	主任介護職員	山本丈
7月17日	施設ケアを変えるための問題解決セミナー	高松市		介護職員	白川晴奈
"	"	"		介護課長	篠原則子
7月19日	介護支援専門員連絡会	琴平町		生活相談員	真鍋貴司
7月24日	福祉の職場説明会	高松市		介護職員	三谷有加莉
"	"	"		介護職員	山口崇行
8月7日	リスクマネジメント研修会	"		統括課長	平田裕二
8月17日	香川県小規模法人等ネットワーク推進セミナー	"		施設長	栗田猛
8月21日	給食施設管理者等研修会	丸亀市		管理栄養士	中須加倫子
8月24日	高齢者福祉施設等職員研修会	高松市		介護職員	松浦幸平
8月28日	四国経営品質協議会定例会	"		生活相談員	真鍋貴司
8月28日	技能実習責任者講習	"		施設長	栗田猛
9月7日	福祉サービス苦情対応研修会	"		施設長	栗田猛
"	"	"		主任介護職員	多田眞弓
9月11日	認定調査員現任研修	丸亀市		統括課長	平田裕二
"	"	"		管理栄養士	中須加倫子
9月14日	中堅職員研修会	高松市		介護職員	山崎空
9月19日	安全運転管理者等講習	まんのう町		施設長	栗田猛
9月27日	四国経営品質協議会定例会	高松市		統括課長	平田裕二
9月28日	社会福祉施設等施設長研修会	"		統括課長	平田裕二
10月2日	介護トピックセミナー	"		介護職員	三谷有加莉

職員研修派遣状況

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
10月4日、5日、6日	おむつフィッター3級研修		京都府	主任介護職員	多田眞弓
10月10日	香川おもいやりネットワーク事業担当者会	高松市		施設長	栗田猛
10月12日、13日	オールジャパンケアコンテスト		鳥取県	介護職員	三谷有加莉
10月22日	交通栄誉章(緑十字銅章)表彰	高松市		施設長	栗田猛
10月26日	人事労務管理セミナー	"		施設長	栗田猛
11月1日	四国経営品質協議会定例会	"		施設長	栗田猛
11月7日	香川大学サテライトセミナー	まんのう町		介護職員	鳥井洋子
11月15日	社会福祉法人の法令遵守研修会	高松市		施設長	栗田猛
11月28日	業界研究合同企業セミナー	善通寺市		介護職員	山口崇行
12月3日	部落解放香川県講演会	高松市		管理栄養士	中須加倫子
12月11日	香川県老人福祉施設協議会研究大会	"		介護職員	森岡利恵
12月11日	香川県認知症介護基礎研修	"		主任補佐介護職員	三野宗一郎
12月15日	防犯アカデミー	"		生活相談員	真鍋貴司
12月19日	腰痛予防対策講習会	"		施設長	栗田猛
1月19日	介護施設等における看取り研修会	"		看護課長	松下葉子
"	"	"		看護職員	片山美保
1月20日、21日、22日	おむつフィッター2級A講座		京都府	主任介護職員	多田眞弓
1月31日	中讃高齢者保健福祉圏域連絡会	丸亀市		施設長	栗田猛
2月5日	香川おもいやりネットワーク事業実践総括セミナー	高松市		施設長	栗田猛
2月12日～16日	インドネシアセルナジャ面接選考		インドネシア	施設長	栗田猛
2月14日、15日	顧客価値経営フォーラム		東京都	統括課長	平田裕二
2月17日、18日、19日	おむつフィッター2級B講座		京都府	主任介護職員	多田眞弓
2月25日	まんのう町人権・同和問題研修会	まんのう町		施設長	栗田猛
2月27日	仲多度南部在宅医療・介護連携推進会議	"		統括課長	平田裕二
2月27日	災害福祉支援セミナー	高松市		施設長	栗田猛
3月6日	香川短期大学実習指導者会	宇多津町		介護課長	篠原則子
3月11日	就活開幕☆LIVE	高松市		介護職員	三谷有加莉
"	"	"		介護職員	木村優花
3月12日	新たな外国人受入に係る制度説明会	高松市		施設長	栗田猛
3月17日	香川排泄ケア・リハビリ研修	丸亀市		介護職員	三谷有加莉
3月17日、18日、19日	おむつフィッター2級C講座		京都府	主任介護職員	多田眞弓
3月22日	集団指導(通所介護)	高松市		センター長	久保渕修
3月25日	香川県社会福祉法人経営青年会理事会・総会	"		施設長	栗田猛
3月27日	香川県老人福祉施設協議会総会	"		施設長	栗田猛
3月31日	帆山自治会・帆山地域保全活動組織総会	まんのう町		施設長	栗田猛

施設内研修等(防災訓練を含む)

月 日	研修内容	参加人員	講 師
5月～6月	嘔吐物・下痢処理研修	15	感染症予防委員会
6月下旬	スピーチロック研修	34	身体拘束廃止委員会
6/25～27	喀痰吸引研修	6	喀痰吸引の安全委員会
7月2日	排泄ケア研修	30	リブドウアドバイザー
8月下旬	ケース記録研修	24	介護主任
8月 4日間	ノーリフティング研修(指導者)	5	ポジショニング委員会
9月～12月	ノーリフティング研修(毎月1項目)	22	介護主任・介護課長
9月～10月	苦情対応研修	48	苦情対策委員会
10/1・10/3	AED、心肺蘇生研修	44	喀痰吸引安全委員会
10月	インフルエンザ・ノロウィルス研修	30	感染症予防委員会
11月1日	シェイクアウト	30	香川県地震防災行動訓練
11月～2月	ノーリフティング研修(評価)	22	介護主任・介護課長
12月17日	日中想定の防災訓練	22	四国アラーム
1/21・1/31	喀痰吸引研修	7	喀痰吸引安全委員会
3月29日	夜間想定の防災訓練	15	仲多度南部消防署

実習等受け入れ状況

実習者名(団体名)	期間	実人員	延日数
香川短期大学 介護実習	8月6日～9月8日	1	19
四国学院大学 社会福祉士実習	8月19日～9月20日	1	23
満濃中学校 職場体験	11月14日～11月16日	2	3

事故報告統計データ(年間件数)

【1】事故報告

①事業別

事業	件数
施設(特養・GH・短期)	223
在宅(通所・居支・その他)	45
計	268

②発生場所別

場所	件数
居室	91
廊下	14
浴室	15
脱衣室	8
ホール	73
トイレ	18
食堂	1
玄関	2
施設外	3
その他	43
計	268

③事故内容別

事故の内容	件数
転倒	35
転落	53
誤飲・誤嚥	0
異食	1
服薬管理	5
自傷行為	0
徘徊	0
入所者間トラブル	2
器物損壊	19
皮下出血	52
紛失	4
金銭管理の事故	0
経管自己抜去	0
送迎・移送中の事故	1
職員の介助中の事故	5
私物返し忘れ	35
表皮剥離	32
その他	24
計	268

④発生時間帯別

時間帯	件数
朝	8時～10時
	10時～12時
昼	12時～14時
	14時～16時
夕	16時～18時
	18時～20時
夜間	20時～22時
	22時～24時
	0時～2時
	2時～4時
早朝	4時～6時
	6時～8時
計	268

⑤障害等

障害分類名	件数
骨折	4
打撲	15
皮下出血	57
すり傷	10
裂傷	6
呼吸困難	0
嘔吐	0
表皮剥離	32
精神不安定	0
外傷等なし	64
利用者の物品管理	60
送迎関係	5
服薬・異常なし	4
その他	11
計	268

【2】ヒヤリハット報告

①発生月別

月別	件数
4月	25
5月	24
6月	22
7月	16
8月	18
9月	29
10月	30
11月	18
12月	28
1月	30
2月	30
3月	25
計	295

⑥発生月別

月別	件数
4月	22
5月	27
6月	13
7月	20
8月	14
9月	21
10月	16
11月	21
12月	19
1月	40
2月	30
3月	25
計	268

⑦保険者への報告

内容	件数
入院等継続的な治療が必要となった事故	1
家族の申出により、苦情に結びつく可能性のある事故	0
介護上の事故等、その他の事故	2
計	3

ご意見受付数

	施設	短期入所	通所	居宅介護支援	その他	合計
①ケアの内容に関する事項	1	1	4		0	6
②個人の嗜好・選択に関する事項	0	0	0		0	0
③財産管理、遺産、遺言等	0	0	0		0	0
④制度、施策、法律に関する要望	0	0	0		0	0
⑤その他	0	0	0		2	2
合 計	1	1	4		2	8

身体拘束の状況

平成30年度も年間を通じて該当される方はいませんでした。

今後も委員会活動等を通じ継続して取り組みます。

年間行事一覧

月	日	行 事 名 (内 容)	参加人数		家族等	ボランティア
			施設	通所		
4	5	お花見	50	27	36	5
5	13	入所ご利用者の家族会	0	0	20	0
5	15	春の野外食	43	23	0	0
6	8	あじさい観賞	2	0	0	1
6	9	デイの家族会	0	0	22	0
7	6	七夕まつり	0	23	0	0
7	28	夏まつり	45	0	22	25
8	8	浴衣茶会	43	23	0	12
9	14	敬老の日 大正琴の演奏	30	23	0	4
10	9	月見茶会	36	22	0	11
10	16	デイサービス運動会	0	25	0	0
10	23	秋の野外食	43	27	0	0
11	16・18	入所ご利用者の家族懇談会	21	0	41	0
11	18	文化祭作品出展	0	7	0	0
12	24	デイのクリスマス会	0	27	0	0
12	25	入所ご利用者のクリスマス会	50	0	0	5
12	27	餅つき	15	20	0	5
1	7	初釜茶会	25	25	0	12
1	10	初笑い会	0	25	0	0
2	3	節分 豆まき	35	12	0	0
3	2	ひなまつり	0	12	0	0
3	28	花見茶会	25	25	0	12

月間定例行事・クラブ活動等(ボランティアによるものを含む)

	活動名	日 時	1回の平均 参加人数	ボランティア名等	内容
施設	手打ちうどん	第3月曜日	38	むぎっこの会	昼食の提供
	園外外出	第3金曜日	3	〃	外出の付き添い
	手作りおやつ	毎月2回	35	安西朱実様	おやつ作り
	花生けクラブ	毎週木曜日	20	〃	花生け
	音楽療法	第1・3土曜日	15	大浦美樹様他	音楽療法
	散髪外出	毎週水曜日	2	近隣の理容店	散髪
	誕生会	誕生日	1	対象者のご家族	誕生日のお祝い
通所	癒しタッチ	第1水曜日	20	仲善シルバーセンター	会話をしながらマッサージ
	傾聴ボランティア	第3火曜日	15	末澤様・山本様	脳トレの手伝いと傾聴
	手打ちうどん交流	6・9・12・3月	2	むぎっこの会	うどん打ちに参加し交流
	生け花	毎週木曜日	10	安西朱実様	生け花
	誕生日祝い	対象者の利用日	1	対象ご利用者	誕生日のお祝い

地域との交流

月	日	内 容	参加人数		交流者名	人数
			施設	通所		
4	29	帆山地区老人会総会	1	0	帆山地区老人会	20
6	3	帆山地区用水清掃	3	0	帆山地区水利組合	50
6	3	笑みの集い(仲南文化ホール)	2	0	笑みクラブ	0
6	24	吉野公民館 介護教室の手伝い	2	0	吉野地区の地域の方々	60
6	29	歌の訪問	20	25	中家美廣様	1
7	11	カラオケ・手品の訪問	15	20	なかよし会	4
7	22	日赤奉仕団 地域交流ホームの提供	1	0	日赤奉仕団	15
8	2	サマースクール	5	0	まんのう町の小中学生	4
8	22	ひまわり会(地域の子供たちとの交流)	0	25	育児サークル	7
9	2	高篠地区 防災講習・介護教室の手伝い	2	0	高篠地区の地域の方々	40
9	15	香川県 高齢者訪問	2	0	中讃保健福祉事務所	4
9	17	帆山地区敬老会	1	0	帆山地区老人会	20
9	25	香川県社協 傾聴ボランティア講座の受け入れ	3	0	香川県社会福祉協議会	2
9	30	高室神社の清掃活動	3	0	帆山自治会	30
10	5	施設見学と福祉の質問	3	0	仲南小学校3年生	25
11	11	クラシックギターのアンサンブル	15	20	OZ-II	2
11	30	歌の訪問	20	20	中家美廣様	1
12	9	仲南地区防災訓練	5	0	帆山消防団等	20
12	11	歌・遊戲の訪問	25	20	仲南こども園	35
12	20	カラオケ・手品の訪問	15	20	なかよし会	4
12	24	顔と手のマッサージ	10	10	(株)彩さ美	7
1	13	クラシックギターのアンサンブル	20	20	OZ-II	2
2	25	ご利用者との交流	5	20	仲南小学校3年生	25
3	6	オカリナ演奏	15	20	西川幸子様他	3
3	11	歌の訪問	20	20	中家美廣様	1

カフェ・お茶会

月	日	種類	内容	参加人数	ボランティア数
4	20	ひまわりの家	いちご風味のミニどら焼き作り、介護予防の話	8	0
6	15	"	牛乳パックで小物入れ作り、町の福祉サービスの紹介	7	0
8	31	"	フルーツポンチ作り、認知症予防の話	3	0
10	31	"	ハロウィンのお菓子作り、交通安全の話	8	0
12	14	"	お正月の飾り作り、折り紙	5	0
2	27	"	アップルパイ作り、口腔ケア・手洗いの話	8	0

短期入所生活介護

- ご利用者のこととは細かなことでも、ご家族だけでなく、担当のケアマネジャーにも連絡をして一緒に考えていました。通所事業などの他の事業所もご利用されている方は、食事状況や介助方法などの情報を、事業所間で連絡し合い、同じようなサービスが提供できるようにしていました。ご利用者のご希望に沿えるように、日程調整していましたが、希望日の重なりなどにより、ご希望通りに対応できることもありました。

延べ短期入所利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護	516	569	555	628	593	531	521	503	526	540	510	539	6531
要支援(介護予防)	16	3	10	10	8	2	29	12	8	6	12	3	119
合計	532	572	565	638	601	533	550	515	534	546	522	542	6650
利用率	88.7	92.3	94.2	102.9	96.9	88.8	88.7	85.8	86.1	88.1	93.2	87.4	91.1

介護度別利用状況

介護度	30年度末 登録人数	年間延べ 利用者数	比率
要支援1	0	0	0%
要支援2	1	119	1.8%
要介護1	11	762	11.5%
要介護2	20	2010	30.2%
要介護3	22	2017	30.3%
要介護4	25	898	13.5%
要介護5	23	844	12.7%
合計	102	6650	100%

(2) 通所介護事業

仲南荘老人デイサービスセンター

ご利用者が自宅での生活を安心して送れるように、ご家族・ケアマネジャーとの日頃の関わりを大切にしました。何気ない会話の中からその方の変化や課題に気付き、全員で統一したサービスに繋げていきましたが、まだまだ改善すべき課題も多く残りました。職員の職場環境づくりでは、現状の業務のすすめ方を検討し、休憩時間の見直しができました。

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・ポジショニングの知識と技術を学び、少しづつですが定着に向けて取り組みました。部署内での研修を繰り返すことで、確実に技術を習得していきましたが、まだ不十分です。
- ・通所会やミーティングでは、各自の気付きを自由に発言してもらうことにより、職員間での認識の不一致を確認することができました

2. 健康支援機能向上訓練の充実

- ・日常生活動作が維持できるように、提供する生活機能プログラムを毎月更新し実施していました。ご利用日に準備したプログラムに参加して頂くことで、ご利用者に定着していました。
- ・食前に口腔体操や、あいうべ体操を実施し、摂食、嚥下機能の維持を行いました。
- ・食事時の正しい姿勢について研修を行い、ご利用者の姿勢の保持を意識して取り組むことができました。

3. 地域社会との関係を活かしたサービスの提供

- ・手打ちうどん作りを3月に1度は地域交流ホームで行い、地域の方と交流できるようにしました。ご利用者は、うどん作りと一緒に行い、昔を懐かしみ参加することができました。

4. 職員の育成と働きやすい職場環境づくり

- ・毎月の通所会で疑問や課題について意見交換を行いました。介護技術や理解度には個人差があり、統一したサービス提供について課題が残りました。
- ・業務内容を見直し、個々の役割分担を明確にすることで、自主的に働きやすい環境作りを行いました。

通所介護事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼動日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
利用実人員	80	74	76	80	75	81	79	77	75	72	72	69	910
利用延人数	616	641	653	679	637	600	654	657	680	596	576	624	7613
利用率 (月～金曜)	81.0	80.4	86.3	86.7	78.7	79.2	81.2	84.2	85.6	73.0	79.5	79.8	81.3
利用率 (土・日曜)	88.9	90.0	97.8	91.1	88.3	82.0	78.3	84.2	94.0	76.7	82.5	80.7	86.2

介護度別利用状況

介護度	30年度末 登録人数	年間延べ 利用者数	比率
要支援1	3	198	2.6%
要支援2	13	593	7.8%
要介護1	27	2602	34.2%
要介護2	21	2202	28.9%
要介護3	11	1542	20.3%
要介護4	3	322	4.2%
要介護5	1	154	2.0%
合計	79	7613	100%

(4) その他の事業

1. 仲南荘老人介護支援センター

(1) 老人介護支援センター事業

- ・施設入所や在宅サービスのご利用の相談があり、担当者へ引き継ぎ対応しました。自治会の会合やひまわりの家など、地域の方々と接する機会があり、お話をすることの積み重ねで、相談できる関係を築いています。

(2) 家族介護者交流事業

- ・在宅で介護されているご家族が、気分転換となるように日帰り旅行を実施しました。ご利用者は、短期入所と通所で受け入れできるように調整しました。

(3) おもいやりネットワーク事業

- ・おもいやりネットワークとしての事業活動は行えていません。近隣の社会福祉協議会とは、地域の福祉課題について話し合いました。
- ・地域の方々に向けての、おもいやりネットワーク事業の事業内容の周知が不十分でした。

2. 生きがい活動支援通所事業

- ・ご利用者の要望を伺いながら、花見外出や買い物等、楽しく過ごして頂けるものを実施しました。ご自宅での生活を継続するうえで必要な筋力アップに繋がるプログラムを考え提供していました。
- ・ご利用者が職員と日常生活の事でも気軽に話ができるように、雰囲気作りに心がけました。徐々にですが個々の悩みや不安をお聞きすることもありました。内容により、関係機関への報告や、職員でお答えできることは助言していました。

生きがいデイサービス 利用実績

まんのう町

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	5	4	4	5	6	3	4	5	4	5	4	5	54
利用延人員	33	20	20	22	29	17	24	34	21	32	19	32	303
1日平均利用者	6.6	5.0	5.0	4.4	4.8	5.7	6.0	6.8	5.3	6.4	4.8	6.4	5.6

琴平町

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	2	4	3	3	2	4	2	2	2	2	2	2	30
利用延人員	8	15	7	11	5	11	11	10	13	10	11	12	124
1日平均利用者	4.0	3.7	2.3	3.6	2.5	2.7	5.5	5.0	6.5	5.0	5.5	6.0	4.1

年間行事等実施状況

月	実施内容	備考(詳細)	参加人員
4	お花見外出	お弁当持参し、まんのう森林公园へ外出	29
5	身体能力維持のための体操	下肢筋力、体力アップ体操	26
6	食中毒予防についての話	○×クイズで予防についての話をする	23
7	熱中症、脱水症についての話	○×クイズで予防についての話をする	23
8	浴衣茶会への参加、リズム体操	お茶席に参加、軽体操	28
9	創作活動、敬老の日の行事	コスモスの壁飾り作り、大正琴の演奏の訪問	13
10	買物外出	スーパー「ハナコ」でお買い物	25
11	転倒予防についての話	クイズ形式で話しをする	24
12	タオル体操、ゲーム	タオルを使って体操をする	24
1	おやつ作り	せんざいをつくる	21
2	冬の体調管理について、軽体操	寒い季節の注意点について話をする	22
3	買物外出	スーパー「ハナコ」でお買い物	24

IV. 特別養護老人ホーム

やすらぎ 荘

(1) 介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業

地域貢献活動では、地域の一員として多くの職員が関わりながら、社会福祉法人としての役割を考え取り組むことができました。

ノーリフティングケアを進めていく中で職員の福祉用具を使った基礎技術と身体の使い方の習得を行いました。ご利用者には安全で安楽なケア提供と、職員には腰痛予防として働きやすい環境を整えていけるよう取り組みました。

終末期を迎えたご利用者を施設で看取ることが増えました。ご家族の意向を踏まえながら穏やかな看取りが行えるよう話し合いながら進める事ができました。

介護老人福祉施設

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・多職種が連携して情報を共有することによって、ケアの統一が出来るように取り組みました。
- ・ノーリフティングケアの技術を習得し、ご利用者に安全で安心な生活を送っていただけるようにしました。また職員の腰痛予防にも繋げていきました。

2. 健康と機能維持に向けた関わり

- ・バイタルサインの測定、年2回検尿、血液検査等を行い主治医との連携のもと、ご家族の意向に沿った医療的ケアの提供ができました。
- ・インフルエンザ予防接種、結核検診等を実施し、施設内の感染防止を行いました。
- ・個別機能訓練計画を作成し、無理のない機能訓練を実施しました。また、残存機能の維持を図ると共に3か月ごとにモニタリングを行いご家族に報告・同意をいただきました。

3. 食生活の充実

- ・多職種が協働して行う栄養マネジメントは今年度も継続することができました。ご利用者に合わせた食事内容の検討を行い、健康に留意した食事の提供が行えました。
- ・食事から季節を感じてもらえるよう、委託先栄養士と共に献立を検討しました。年々、食材費が高騰しており、以前と同じ内容では提供できないこともありましたが、代替え食材を入れながら、おいしい食事が提供できるような工夫をしました。

4. 適切な相談支援

- ・新規入所時には、施設が提供するサービスについて十分に説明を行い、ご家族の希望と相違がないように入所していただけました。
- ・終末期の方への対応は、ご家族、嘱託医、関係職種で話し合うことで、納得のできる終末期が迎えられるようにしました。

5. 積極的な地域社会との交流

- ・民生委員会への定例会に参加し、情報交換を行いました。
- ・青色防犯パトロールを週に1回実施しました。業務の都合により実施できない週もあります。

した。実施継続の為に見直しを図っていきます。

- ・琴南小学校との交流事業として、施設訪問を2回受け入れました。また、小学校に出向いての高齢者福祉の出前講座を開催しました。

6. 職員の育成と働きやすい職場環境づくり

- ・施設環境整備として足元の不安定さの解消と夜間の安全の為に、駐車場の整備、街灯の設置を行いました。
- ・毎月の職員会で、「知愛一如手帳」を使用し、項目ごとに職員一人ひとりが自分の考えを発言し、考えの共感や共有が行えました。

7. 平成30年度委員会活動

◇研修委員会

- ・各委員会と連携し目的を明確にして実施することができました。
- ・研修後にアンケートを実施していましたが、研修内容の課題の把握や検討を十分には行えませんでした。

◇リスクマネジメント委員会（事故・防災・防犯）

- ・年2回の防火訓練と土砂災害緊急通報の訓練を実施しました。
- ・毎月の介護会にて事故とヒヤリハットのモニタリングを実施しました。

◇サービス向上委員会（業務改善・CS）

- ・ご利用者アンケートを実施し、その結果から対応策を検討・改善することができました。
- ・「職員に自己評価を記入してもらい、自施設のサービス確認を行なう」と計画していましたが、実施することができませんでした。

◇広報委員会

- ・広報誌の発行を年に2回発行する予定でしたが、編集等が十分ではなく、1回しか発行できませんでした。ホームページ「窓」の更新は定期的に行うことができました。

◇身体拘束廃止委員会（高齢者虐待）

- ・福祉用具を活用し、拘束がなくても生活できる環境の整備を行いました。
- ・年2回の「身体拘束」「虐待防止」の研修を行ない職員の意識の統一を図りました。

◇感染防止対策委員会

- ・年間計画通り施設内研修を実施しました。
- ・3月には風邪の流行があり、マニュアルに沿い感染対策を行いました。
- また、委員会メンバーで今回の対応について話し合いマニュアルを補足しました。

◇ポジショニング委員会（褥瘡予防・拘縮予防・ノーリフト）

- ご利用者の状態を多職種で共有し、それぞれの立場から意見を出しあって異常の早期発見と早期対応をしました。
- ノーリフティングケアの基礎介護について、評価技術を全ての介護職員に実施し腰痛予防に繋げましたが、習慣化にはまだ至っていません。

◇地域福祉推進委員会

- お茶のまん会を実施するために、企画・立案を行いました。お茶のまん会には介護・看護・ディの職員も参加し、様々な職員が地域交流に関わるようになりました。また、開催場所もやすらぎ荘以外に2か所増やし、より多くの方に参加してもらえるようにしました。地域の方の参加人数も増え、楽しみに待ってくださっている方が増えています。
- 地域清掃活動を年2回行い、やすらぎ荘周辺の地域を歩きながら、ゴミ拾いや草刈りを行いました。

◇労働安全衛生委員会

- 毎月テーマを決めて健康で働くための情報や秘訣について話し合いました。その情報を各部署へ持ち帰り情報提供を行いました。
- 安全運転講習会を梅雨時、冬季の2回開催し交通安全の啓発を行いました。
- 施設の危険箇所の点検を定期的に行うことにしていましたが、点検できない時がありました。
- 職員の腰痛予防アンケートを実施し、現状把握を行いました。結果を踏まえて今後の取り組みについて話し合いを行いました。

◇安全委員会

- 嘱託医の指導のもと、救命処置研修を行い、緊急時の対応の仕方について学びました。
- 吸引の対象者が不在のため、年度内は吸引を行いませんでした。

◇給食委員会

- 2週間に1度、施設職員と委託業者が参加し、給食内容についての反省やご利用者の食事状況についての情報交換を行いました。反省点については、次回の献立作成時に生かせるよう、委託業者とも打ち合わせを行い、より良い食事提供ができるようにしました。
- 給食に異物混入が3回ありました。その都度、委託業者に報告し原因の究明と再発防止につなげました。

特別養護老人ホームやすらぎ荘

施設利用状況

入所	計	退所				月間空床率	延べ利用者数		
		死 亡		長期入院	施設間移動				
		施設内	病院						
4月	1	0	0	0	0	0	2.6	888	
5月	0	0	0	0	0	0	0	930	
6月	0	0	0	0	0	0	0	900	
7月	0	0	0	0	0	0	0	930	
8月	0	0	0	0	0	0	0.1	930	
9月	0	0	0	0	0	0	0.1	900	
10月	1	1	0	0	0	1	0.1	929	
11月	0	0	0	0	0	0	0	900	
12月	0	0	0	0	0	0	0	930	
1月	2	1	0	0	1	2	0.6	922	
2月	1	1	0	0	0	1	0.5	835	
3月	1	2	0	0	0	2	3.4	896	
計	6	5	0	0	1	6		10890	

介護度別	平成30年度末				年間 延べ利用者数
	介護度	男	女	計	
要介護 1	0	0	0	0	0
要介護 2	0	1	1	3.4	699
要介護 3	1	8	9	31.0	3414
要介護 4	2	8	10	34.5	4354
要介護 5	1	8	9	31.0	2423
計	4	25	29	100	10890
		平均	3.9		

市町別	平成30年度末		
	利用者数	入所数	退所数
まんのう町	27	6	5
三豊市	1	0	1
丸亀市	1	0	0
計	29	6	6

外泊・入院の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外泊	1	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0
入院	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

年齢分布

年齢	70歳未満	70歳台	80歳台	90歳台	100歳以上	計	平均	最高齢	最若齢
男性	0	1	1	2	0	4	86.8	96	76
女性	0	1	7	16	1	25	91.6	103	75
計	0	2	8	18	1	29	90.9		

認知症高齢者の日常生活自立度

	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV
人数	0	0	2	9	9	3	6

入所平均在所期間

男性	4年7か月
女性	3年2か月
全 体	3年4か月

特別養護老人ホームやすらぎ荘

診療科別往診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	12	13	13	14	12	11	14	12	12	14	11	12	150
整形外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科	6	4	2	2	2	3	4	2	3	3	3	5	39
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	18	17	15	16	14	14	18	14	15	17	14	17	189

診療科別受診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	2	6
整形外科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
耳鼻咽喉科	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
眼科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳神経外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	2	3	0	1	1	0	1	1	0	1	2	13

リハビリテーション実施状況

種目	ホットパック	マイクロ波	ハドマー	足マッサージ器	マッサージチェア	平行棒歩行訓練	杖・歩行器歩行訓練	筋木運動	滑車運動	生活リハビリ	入浴時運動	RO時体操	おしごり巻き等作業	園芸活動
対象者数	3	0	2	0	0	4	2	3	5	0	0	0	0	0

食事形態の状況

	普通食	きざみ食	極きざみ食	つぶし食	経管栄養	合計
平成30年度末	3	9	9	7	1	29

栄養マネジメント実施者数

	低リスク	中リスク	高リスク	合計
平成30年度末	23	1	2	26

職員研修派遣状況

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
5月25日	仲多度南部危険物安全協会定時総会	琴平町		所長	田中博之
5月22日	まんのう町琴南地区戦没者追悼式	まんのう町		施設長	盛優子
5月29日	介護施設における医療行為を安全に実施するための看護師等研修	高松市		統括課長	近藤晃敬
6月8日	喀痰吸引等研修事業指導看護師等フォローアップ研修	"		看護課長	堀家和子
7月17日	施設ケアを変えるための課題解決セミナー	"		介護課長	山本永利子
"	"	"		施設長	盛優子
7月26日	対人援助技術専門研修会	"		介護職員	平田かをる
8月1日	介護技術特別研修会	"		介護職員	香川春香
8月21日	給食施設管理者研修会	"		管理栄養士	上岡由希子
8月26日	香川県国保地域医療学会	"		施設長	盛優子
"	"	"		看護課長	堀家和子
"	"	"		看護職員	谷川乃理子
9月7日	福祉サービス苦情対応研修会	"		介護職員	久保味沙
9月11日	認定調査員現任研修会	丸亀市		統括課長	近藤晃敬
"	"	"		介護支援専門員	渡辺悦子
9月26日	認知症介護基礎研修会	"		介護職員	森田亘
9月26日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	高松市		介護支援専門員	渡辺悦子
10月4,12,16,20日	"	"		"	"
10月3,9,19,25日	介護福祉士養成実習施設実習指導者研修会	"		介護主任	真鍋博輝
10月12日	介護トピックセミナー	"		介護職員	川口千穂美
10月26日	人事労務管理セミナー	"		施設長	盛優子
11月7日	凍結含浸食セミナー	"		管理栄養士	上岡由希子
11月7日	香川大学サラライトセミナー	まんのう町		看護職員	谷川乃理子
12月8日	まんのう町社会福祉大会	"		施設長	盛優子
12月9日	琴南地区防災研修会	"		統括課長	近藤晃敬
"	"	"		施設長	盛優子
"	"	"		介護職員	葛城論
12月11日	老人福祉施設協議会研究大会	高松市		介護職員	平田かをる
12月14,15,16,17 18,19日	社会福祉施設長資格認定講習課程スクーリング		神奈川県	施設長	盛優子
12月17日	認知症セミナー	高松市		管理栄養士	上岡由希子
12月19日	腰痛予防対策講習会	"		統括課長	近藤晃敬
1月19日	介護施設等における看取り研修会	"		看護課長	堀家和子
1月31日	中讃高齢者福祉圏域連絡会	丸亀市		施設長	盛優子
2月27日	仲多度南部在宅医療介護連絡推進会議	琴平町		介護支援専門員	香川ゆかり
2月27日	災害福祉支援セミナー	高松市		統括課長	近藤晃敬
3月17日	香川排泄ケアリハビリ研修会	丸亀市		介護職員	久保味沙
3月22日	集団指導	高松市		通所課長	森末裕之

施設内研修等 (防災訓練を含む)

月 日	研修内容	参加人員	講 師
5月21日	認知症研修	9	研修委員会
6月20日	食中毒研修	10	管理栄養士
7月27日	リスクマネジメント研修	10	リスクマネジメント委員会
8月30日	褥瘡・拘束予防研修	10	ポジショニング褥瘡委員会
10月12日	身体拘束廃止研修	12	身体拘束廃止委員会
10月29日	防災訓練	20	南部消防署
11月12.13.15.16.20.23日	嘔吐処理実技研修	12	感染防止対策委員会
1月21日	身体拘束廃止研修	10	身体拘束委員会
2月19日	心肺蘇生・AED研修	13	美合診療:吉野医師
2月25日	個人情報・プライバシー研修	12	研修委員会
3月22日	防災訓練	20	南部消防署

実習等受け入れ状況

※30年度の実習生の受け入れはありませんでした。

事故報告統計データ(年間件数)

【1】事故報告

①事業別

	事業	件数
1	施設(特養・GH・短期)	86
2	在宅(通所・居支・その他)	0
	計	86

②発生場所別

	場所	件数
1	居室	26
2	廊下	2
3	浴室	11
4	脱衣室	4
5	ホール	13
6	トイレ	7
7	食堂	9
8	玄関	0
9	園外	2
10	その他	12
	計	86

③事故内容別

	事故の内容	件数
1	転倒	12
2	転落	17
3	誤飲・誤嚥	0
4	異食	1
5	誤薬	4
6	自傷行為	0
7	徘徊	0
8	入所者間トラブル	0
9	器物損壊	2
10	皮下出血	9
11	紛失	0
12	金銭管理の事故	0
13	経管自己抜去	0
14	送迎・移送中の事故	2
15	職員の介助中の事故	0
16	私物返し忘れ	11
17	表皮剥離	14
18	その他	14
	計	86

④発生時間帯別

	時間帯	件数
朝	8時～10時	14
	10時～12時	25
昼	12時～14時	6
	14時～16時	11
夕	16時～18時	8
	18時～20時	5
夜間	20時～22時	1
	22時～24時	1
	0時～2時	0
	2時～4時	6
早朝	4時～6時	4
	6時～8時	5
	計	86

⑤障害等

	障害分類名	件数
1	骨折	0
2	打撲	2
3	皮下出血	9
4	すり傷	0
5	裂傷	0
6	呼吸困難	0
7	嘔吐	0
8	表皮剥離	14
9	精神不安定	0
10	外傷等なし	30
11	利用者の物品管理	11
12	送迎関係	0
13	その他	20
	計	86

【2】ヒヤリハット報告

①発生月別

	月別	件数
1	4月	5
2	5月	7
3	6月	20
4	7月	10
5	8月	14
6	9月	5
7	10月	8
8	11月	11
9	12月	8
10	1月	12
11	2月	4
12	3月	3
	計	107

⑥発生月別

	月別	件数
1	4月	8
2	5月	13
3	6月	8
4	7月	14
5	8月	9
6	9月	4
7	10月	10
8	11月	7
9	12月	8
10	1月	1
11	2月	0
12	3月	4
	計	86

⑦保険者への報告

	内 容	件数
1	入院等継続的な治療が必要となった事故	0
2	家族の申出により、苦情に結びつく可能性のある事故	0
3	介護上の事故等、その他の事故	0
	計	0

特別養護老人ホームやすらぎ荘

ご意見受付数

	施設	短期入所	通所	居宅介護支援	その他	合計
①ケアの内容に関する事項	0	0	4	0	0	4
②個人の嗜好・選択に関する事項	0	0	0	0	0	0
③財産管理、遺産、遺言等	0	0	0	0	0	0
④制度、施策、法律に関する要望	0	0	0	0	0	0
⑤その他	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	4	0	0	4

身体拘束の状況

平成30年度も年間を通じて該当される方はいませんでした。

年間行事一覧

月	日	行 事 名 (内 容)	参加人数		家族等	ボランティア
			施設	通所		
4	10	花見散歩	0	30	0	0
4	12	花見	32	0	3	0
5	25	春の野外食	34	22	5	0
7	4	お楽しみ七夕会	0	22	0	0
7	17	交通安全教室	0	23	0	0
8	3	夏祭り	36	0	10	0
9	28	花育活動	0	23	0	0
10	12	秋の野外食	30	22	3	0
10	24	運動会	0	21	0	0
11	20	交通安全教室	0	18	0	0
12	21	クリスマス会	30	21	0	0
12	26	餅つき	0	21	0	0
2	5	旧暦餅つき	30	0	0	0
2	1	節分	30	18	0	0
3	1	ひな祭り	30	0	0	0

月間定例行事・クラブ活動等(ボランティアによるものを含む)

	活動名	日 時	1回の平均 参加人数	ボランティア名等	内容
施設	散髪ボランティア	第1金曜日	3	まんのう社協	理美容室に出かける
	散髪ボランティア	第2木曜日	3	まんのう社協	理美容室に出かける
	うきうき外出	第3水曜日	3	まんのう社協	
	音楽療法	第2・4水曜日	25	豊嶋様他	
	法話	第3木曜日	25	高尾様	妙覚寺住職
通所					
	誕生日祝い	誕生月の初回利用日	5		歯ブラシをプレゼント
	カラオケ	週2回	10		本人のリクエストに沿って実施
	作品つくり	隨時	10	堀田様	琴南地区文化祭に出展
	運動レク	隨時	20	堀田様	身体を動かしたりハビリ
	脳トレーニング	隨時	10	堀田様	漢字・計算・間違い探し・塗り絵等
	畑作業と調理	随时	7		収穫野菜を調理して昼食に一品
	読み聞かせボランティア	毎月1回	20	大谷様	朗読

地域との交流

月	日	内 容	参加人数		交流者名	人数
			施設	通所		
4	10	げんき会訪問	0	15	げんき会	8
5	11	すみれ会訪問	25	20	すみれ会	10
6	1	地域清掃	7	7		0
6	3	花植えボランティア	0	0	親子ボランティアの会	3
7	13	琴南小訪問	20	20	琴南小学校	15
7	18	つくし会訪問	25	20	つくし会	15
8	2	いろは保育園	25	20	いろは保育員	20
8	3	夏祭り	30	0		0
9	14	地域清掃	7	7		0
9	25	そば打ち	20	0	そばっこ会	10
10	7	花植えボランティア	0	0	親子ボランティアの会	3
11	3	琴南地区文化祭出展	10	20		0
11	5	すみれ会訪問	20	20	すみれ会	10
11	6	琴南小訪問	20	20	琴南小学校	15
11	18	檀那会草刈りボランティア	0	0	檀那会	25
12	14	手作りおはぎ訪問	30	0	老人クラブ琴南支部	10
12	24	車椅子清掃	0	0	親子ボランティアの会	3
1	6	七草粥訪問	30	0	親子ボランティアの会	10
2	20	そば打ち	20	0	そばっこ会	10

カフェ・お茶会

月	日	種類	内容	参加 人数	ボラン ティア 数
6	9	お茶のまん会	認知症についての話、桜もち作り	6	0
7	20	お茶のまん会	シルバー川柳紹介、折り紙を使った小物作り	7	0
9	8	お茶のまん会	ミニ運動会	21	0
11	9	お茶のまん会	パッククッキング、防災グッズの紹介	12	0

短期入所生活介護

・ケアマネジャーと連携を行いながら、ご希望に沿った利用につながるように受け入れを行いました。ご利用中の生活状況をお伝えし、情報の共有を図りました。

延べ短期入所利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護	131	137	157	178	175	176	176	165	180	170	168	153	1966
要支援(介護予防)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	131	137	157	178	175	176	176	165	180	170	168	153	1966
利用率	73.7	73.7	87.2	96.8	94.1	94.6	94.6	91.7	97.8	91.4	100.0	82.3	89.8

介護度別利用状況

介護度	30年度末登録人数	年間延べ利用者数	比率
要支援1	0	0	0%
要支援2	0	0	0%
要介護1	1	113	5.7%
要介護2	8	1268	64.5%
要介護3	4	511	26.0%
要介護4	0	47	2.4%
要介護5	1	27	1.4%
合計	14	1966	100%

(2) 通所介護事業

やすらぎ荘老人デイサービスセンター

今年度は職員の入れ替りが多く、ご利用者にはご迷惑をかけましたが大きな事故もなく過ごすことができました。冬季の積雪も例年になく少なく、送迎に支障をきたすこともありませんでした。外出機会の少ない山あいの地域のご利用者にとってデイサービスが心身の拠り所になるよう支援しました。

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・今年度は、近隣のご利用者が増えました。地域の拠点としての役割と信頼が根付いている結果です。通所会、朝夕のミーティングにおいて日々変化するご利用者の状態を把握し職員全員が共有できるようにしました。接遇、言葉遣いについて何度も話し合い、お互いに注意しあえる職場環境にしました。

2. 健康支援機能向上訓練の充実

- ・ご利用者の平均介護度が前年比 108%アップ、利用途中に体調不良になり、救急搬送したケースも増えています。このことからもご利用者の高齢化と心身状態が低下しているのがわかります。看護職員を中心に体調変化には常に留意しました。
- ・ポジショニング技術の習得において、全職員が定時にマルチグローブを使用する機会を設けた結果、技術を上げるとともにご利用者に安楽な姿勢保持を提供できました。

3. 地域社会との関係を活かしたサービスの提供

- ・地域のより多くの方に施設を利用していただくために、情報発信の機会に活動内容、施設機能の紹介をしました。しかし、「施設開放機能（筋力トレーニング）」や「日常生活支援総合事業通所 A」へのご利用にはつながりませんでした。また、「琴南の在宅医療・介護の連絡会」に参加し、関係機関と情報共有、情報提供を行いました。

4. 職員の育成と働きやすい職場環境づくり

- ・職員の入れ替りが多く、新規採用の職員の育成が十分ではありませんでした。しかし、ベテランから新人まで一体となって、大きな事故もなく協力しあえる体制ができました。

通所介護事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼動日数	21	23	21	22	23	20	23	21	20	22	20	21	257
利用実人員	52	51	53	54	56	56	57	56	56	57	53	52	653
利用延人数	396	423	414	427	450	400	468	433	406	386	364	393	4960
利用率	94.2	91.9	98.5	97.0	97.8	100.0	81.3	82.4	81.2	70.1	72.8	74.8	85.8

* 利用定員(月～金曜) 10月より、定員20名から25名に変更

介護度別利用状況

介護度	30年度末 登録人数	年間延べ 利用者数	比率
要支援1	5	194	3.9%
要支援2	13	971	19.6%
要介護1	17	1947	39.3%
要介護2	8	1044	21.0%
要介護3	8	737	14.9%
要介護4	0	47	0.9%
要介護5	1	20	0.4%
合計	52	4960	100%

(3)居宅介護支援事業

1. 適切な業務管理の徹底

- ・制度改正に対応し、新しい様式を作成しました。より、公正中立なサービス事業所の紹介・説明を徹底することができています。

2. 業務改善への継続的な取り組み

- ・ご利用者の迅速丁寧な支援に十分な時間を使いました。書類の簡素化についても常に検討を行いました。

3. 困難事例への積極的な対応

- ・困難事例についても他ケースと同じように、必要最少な公的サービスと地域のインフォーマルサービスを組み合わせ、本人が持てる力を発揮しながら安全に暮らせるよう支援者のネットワークを作りました。

4. 関係機関との協力体制

- ・『琴南の在宅医療・介護の連絡会』に参加し、意見交換でき、地域の多職種と連携を深めることができました。
- ・内科診療所・歯科診療所の医師へも随時、詳細な情報伝達ができ、医師の意見を反映したケアプランを作成・交付しました。
- ・サービス事業所に対して、気象・道路状況や、インフォーマルサービスの利用状況等きめ細やかな情報提供を行い、様々なサービスを円滑に受けることができ在宅生活が継続できました。

5. 専門職としてスキルアップできる研修の充実

- ・介護支援専門員専門研修課程Ⅱ、第2回仲多度南部在宅医療・介護連携推進会議や集団指導等の研修に参加しました。情報は事業所内介護支援専門員で共有するとともに、居宅担当者会でも発表し、正友会内介護支援専門員で共有することができました。

居宅支援事業実績

市町別居宅サービス計画実績 () 内要支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
まんのう町	49 (1)	46 (1)	47 (1)	47 (1)	52 (1)	52 (1)	54 (2)	51 (3)	50 (3)	49 (3)	48 (3)	46 (4)	591 (24)
計	49 (1)	46 (1)	47 (1)	47 (1)	52 (1)	52 (1)	54 (2)	51 (3)	50 (3)	49 (3)	48 (3)	46 (4)	591 (24)

要介護度別状況

平成30年度末

介護度	作成者数
要支援 1	0
要支援 2	4
要介護 1	18
要介護 2	17
要介護 3	10
要介護 4	0
要介護 5	1
計	50

支給申請の手続き代行及び、認定調査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福祉用具支給申請	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3
住宅改修支給申請	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	5
介護保険申請代行	5	1	1	3	1	4	1	1	3	3	4	1	28
介護保険認定調査	2	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	10

(4) その他の事業

1. 給食サービス事業

- ・琴南高齢者ふれあいランドで会食方式にて昼食を提供しました。電気療法、筋力トレーニング機器を使用して体力作りをしました。また、買物に不便をきたしている方が多いため、近隣のスーパーへお買い物ドライブを実施しました。高齢に加え、一人暮らしの不安を抱えている方が多く、生活全般に関する、アドバイスをしました。

2. 生きがい活動支援通所事業

- ・琴南高齢者ふれあいランドで健康測定、レクリエーション、電気療法を実施し、健康維持について意識していただけるよう支援しました。デイサービスのご利用者とも交流し、小運動会にも参加しました。新年には初詣に出掛けたり、隔月に近隣のスーパーへ買物外出を実施し、山あいの地域の不便さ解消の一助となりました。近年、人口減少やご利用者の介護保険への移行が続き減少傾向です。

3. ふれあいランド友の会

- ・山間部という地域性のため外出が困難な方を対象に受診や行政手続き、金融機関への送迎を実施しました。また、ご利用者同士の交流の場を提供し、閉じこもりになるのを防ぎました。心配事、体調不良、その他相談事には行政機関、医療機関、ケアマネジャーに連絡し、共に解決することで在宅の生活を支えました。

4. まんのう町琴南高齢者生活福祉センター

- ・今年度は1名が施設入所のため退居し3名が入居しました。まんのう町の入居条件が見直され、内2名は親子での入居が可能となりました。山深い地で親子で暮らしていましたが、生活が困難なため入居となりました。入居後は安心して穏やかに生活されています。また、入居者の高齢化が進んでいるため介護サービスを利用されている方が半数以上います。朝夕の安否確認、緊急時のナースコールにも迅速に対応しました。まんのう町とも密に連絡を取り情報共有に努めました。定期的に防災訓練、設備点検、消防署の立入り検査を実施し、安心安全な生活環境を維持しました。

生きがいデイサービス 利用実績

まんのう町

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	4	2	4	2	4	2	4	2	4	2	4	2	36
利用延人員	28	15	26	11	11	8	19	3	13	8	16	7	165
1日平均利用者	7.0	7.5	6.5	5.5	2.8	4.0	4.8	1.5	3.3	4.0	4.0	3.5	4.5

年間行事等実施状況

月	実施内容	備考(詳細)	参加人員
4	脳トレーニング・軽体操	全員で教材に沿って実施	15
5	買物外出	マルヨシセンターでの買物	15
6	脳トレーニング・軽体操	全員で教材に沿って実施	14
7	買物外出・踊り鑑賞	デイリーマート、マルヨシセンターでの買物 踊りボランティア「つくし会」の訪問	11
8	脳トレーニング・軽体操 高校野球TV観戦	全員で教材に沿って実施	10
9	買物外出	マルヨシセンター、美馬道の駅での買物	8
10	脳トレーニング・軽体操・小運動会	デイサービス利用者と小運動会を実施	10
11	買物外出	マルナカまんのう店での買物	3
12	脳トレーニング・軽体操・餅つき	デイサービス利用者と餅つき行事に参加	8
1	脳トレーニング・軽体操・初詣	滝宮天満宮への初詣	8
2	脳トレーニング・軽体操	全員で教材に沿って実施	8
3	買物外出	デイリーマートでの買物	7

給食サービス・安否確認実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回 数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
食 数	22	21	26	21	21	22	25	25	23	23	22	23	274

ふれあいランド友の会実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回 数	4	4	4	4	5	4	4	5	4	4	4	3	49
食 数	37	43	41	46	56	49	42	62	41	39	37	31	524

琴南高齢者生活福祉センター

月別入所世帯(毎月1日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所世帯	9	9	9	8	8	9	9	9	10	10	10	10
人 数	9	9	9	8	8	9	9	9	11	11	11	11

入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入 所	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	3
退 所	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

V. グループホーム

よりあい

(1) 認知症対応型共同生活介護事業

ご利用者一人ひとりの「その人らしさ」と「もっている力」を大切にするにはどうすればよいかを職員間で考えました。ご家族や地域社会との関係を大事にし、穏やかに暮らしていくだけるよう支援しました。また、スタンディングリフトを導入し、ノーリフティングケアを現場で標準化することができました。

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ご利用者について気づいたことには申し送りをしていますが、下期は新しい職員が増え、申し送りファイル等の活用が徹底できなかった期間がありました。情報を共有し統一したサービスを提供するためにも、今後も決まりごとが守られているか確認していきます。
- ご利用者には何かをする際には、必ず意思確認のできるような声かけを行い、不安感を与えないような表情や態度で接しました。また、認知症の症状の方にも安心していただけるような関わり方を心がけました。入浴やトイレなどはプライバシーに配慮しながら、決して無理強いはせず、時間や日を変えてご本人のペースや気持ちを最優先に行動しました。
- ご家族の面会等の際には元気で気持ち良く感じていただけるような挨拶でお迎えしました。職員の方から積極的に声をかけ、ご利用者の日常の様子をお伝えしています。

2. 健康と機能維持に向けた関わり

- 日々のご利用者の健康状態をよく観察し、職員で情報共有しました。毎週月～土曜日の協力医療機関医師の往診時には変化のあった状態を正確に伝えて指示に従って対応しました。
- ご利用者に体調不良や転倒などの事故が起きた場合には、看護職員と連携して処置等を行いました。またご利用者の急変時には、職員間で連携し、迅速に受診や救急搬送等を行いました。
- スタンディングリフトを今年度の途中から現場に導入しました。その結果、職員がご利用者を抱えるといった介助の場面はなくなり、ノーリフティングケアの徹底につながっています。またスタンディングリフトを活用したことにより、身体機能が向上したご利用者も数名いらっしゃいます。

3. 食生活の充実

- ご利用者と一緒に施設の畑で野菜の植え付けや収穫をしました。それらを日々の食材に取り入れて、旬の食材を味わっていただきました。
- 日常のご利用者との会話や家族アンケートからご利用者の要望や嗜好を伺い「希望メニュー」として献立に取り入れました。ご家族やご近所の方々から頂いた野菜や果物も、実物をご利用者に見て触っていただき季節の旬を感じていただいています。
- 毎月第3金曜日に、「おばあちゃんのごはん」としてご利用者全員に主体的に食事作りに関わっていただきました。家族会でもこの「おばあちゃんのごはん」は好評をいただいています。

4. 適切な相談支援

- ・入所について相談を受けた際には、施設の入居要件や待機状況、サービス内容やご利用者の日常の様子をパンフレットや広報誌を活用しながらわかりやすく説明しました。
- 早期入所のご希望にそえず、相談者が困っているような場合には、他施設の案内や在宅サービス等の提案を行い、次につなげていきました。
- ・ケアプランでは、ユニット会を利用して話し合いを行い、サービス担当者会議を有意義なものにし、プラン作成に活かしました。

5. 積極的な地域社会との交流

(ご利用者の関わった行事等)

- ・葉っぱたんの会をはじめとするボランティアの皆様や地域の方々に協力していただき、地域とご利用者との交流の場を継続して設けることができました。近隣の高篠小学校やこども園のこども達との交流会では、ご利用者とこども達共に大変喜ばれて多くの笑顔が見られました。
- ・10月には秋祭りを開催しました。イベントでは地域の馴染みの方々が参加して下さり、盛り上げていただきました。近隣住民の方々と一緒にこどもから大人までご利用者・ご家族・職員と共に祭りを楽しみました。この秋祭りも地元で定着しつつあり、年々来場数を増えてきています。

(施設として地域との関わり)

- ・施設の駐車場を主に高篠こども園や高篠小学校の関係者にお貸しして、有効に活用いただいている。また、春には、用水路清掃に職員が参加して地域の方々と一緒に活動しました。
- ・高篠地区社協主催の介護教室では、施設全館を使用し、実際の介助を体験していただきました。施設で使用している福祉用具に触れていただきながら、ポジショニングやノーリフティングの説明を行いました。
- ・まんのう町内にあるもう1つの認知症グループホームとは運営推進会議に職員が互いに出席しました。積極的に情報交換を行い、お互いの施設のサービスの向上につなげました。

6. 職員の育成と働きやすい職場環境づくり

- ・職員同士の挨拶や言葉づかい等について現場の状況を定期的に確認しました。社会人、職業人として求められる当たり前の行動ができるように上司はユニット会等で伝えていっています。
- ・仕事の中で自分の役割に責任を持ち、失敗をしたとしてもそれを糧として多くの経験を積んでいくことが大切であることを職員会等で確認しました。自分の考えを持ち、その考えを自分の言葉で伝える力を向上させられるように、上司は意識的に会議や面談で問い合わせました。
- ・新しく採用された職員が、早く職場環境に慣れて不安なく働けるよう、施設全体で温かく見守りフォローしていました。個々のペースはありますが、仕事にも慣れ前向きに取り組んでいます。

7. 平成30年度委員会活動

◇研修委員会

- ・年間計画に沿って、各委員会等と打合せをし、協力しながら全職員を対象に研修を実施しました。決まった職員だけでなく、各ユニットの職員が研修で吸収したことを別の職員に発信していく研修形態も定着し、職員の理解度を高めていっています。
- ・研修を受けて記入した研修アンケートを半年後に本人たちに返し、内容の再確認を行いました。時間の経過で意識の薄れてきた内容を思い返し、研修で学んだことを一時的なものにならないためにも、今後も継続します。

◇事故防止検討委員会

- ・毎月の会議の中で事故とヒヤリ・ハット事例の振り返りを行って再発防止について話し合い、経緯や要因を再確認しました。服薬手順の確認も1年間継続して行いましたが、服薬忘れの事故件数をゼロにすることはできませんでした。服薬時の手順だけでなく、セットの際の手順を取り組んでいく課題とします。
- ・今年度はヒヤリ・ハット事例報告件数の個別目標を作りませんでした。そのことで昨年度より100件以上も報告件数が減少していました。リスクセンスを共有することの大切さについて全職員が認識できることを目指して、報告件数を増やしていきます。

◇苦情対応委員会

- ・ご意見を頂くことの意義を研修等で職員に伝えました。日々の会話から気づきを得るよう意識をしていましたが、今年度は2件のご意見受付となりました。まだまだご利用者やご家族その他の方々の声を拾い切れていない結果です。
- ・年に2回の家族アンケートでは、冬の時期にズボンの裾が上がって寒そうであるとのご指摘があり、リーダー会やユニット会でまず実状を把握し、長い靴下やレッグウォーマー等で暖かくできるように改善しました。

◇業務改善委員会

- ・今年度は指定地域密着型サービス外部評価を受けました。受審にあたり、職員一人ひとりが自己評価を行って施設のサービスを振り返りました。実際の評価では、職員のご利用者に対する姿勢やご利用者主体の食事づくり「おばあちゃんのごはん」や地域との関わりを高く評価いただき認めていただきました。災害に備えた訓練の充実に今以上に意識を持てるようご提示いただいたので、施設全体で取り組んでいきます。
- ・業務マニュアルの見直しが計画よりも遅れました。新しいマニュアル作成とともに重点課題として引き続き進めます。

◇広報委員会

- ・ホームページ『窓』を毎月更新することができましたが、季節行事中心といった掲載内容に偏りがあり、今後の課題としています。

- ・広報誌『我が家』第7号を発行しました。行事だけでなく施設での取り組みを掲載することで、家庭的な生活の様子も発信することができました。

◇身体拘束廃止委員会

- ・毎月の会議で施設の身体拘束ゼロについて確認し、虐待につながるような不適切なケアが現場で起きていないかの確認も行いました。
- ・全職員に対して身体拘束についての研修を実施し、身体拘束の定義とその先にあるリスクについて職員の理解を深めました。何気ないコミュニケーションの中でも起こりうるスピーチロックやご利用者の行動を制限てしまっている職員の言動について、職員一人ひとりが振り返り、気持ちを改める機会が持てました。

◇感染症予防対策委員会

- ・感染症流行時期の前に感染症に関する研修を行い、職員の危機管理意識を高めました。また、手洗いやうがいを徹底し、外出の際や体調不良時にはマスクを着用して感染予防に努めました。
- ・職員間で感染性胃腸炎の発症が広がりましたが、ご利用者には感染はありませんでした。早期に発見して、拡大を防いでいくことはこれからも課題として注意喚起していきます。

◇ポジショニング委員会

- ・スタンディングリフトを導入し、ご利用者・職員共に身体の負担が少ない移乗介助やトイレ誘導、排泄介助を行えるようになりました。また介助のみならず、ご利用者の立位訓練にも活用でき、尖足の予防や膝を伸ばすなど、ご利用者の身体機能維持につながっています。
- ・法人全体でノーリフティングケアに取り組む中で、施設の職員にノーリフティング基礎技術研修を行いました。ご利用者にとっても職員にとっても負担の少ない体の使い方や介助方法を委員会メンバーが中心となり、現場で活かせるように時間をとり練習しました。

◇労働安全衛生委員会

- ・毎月、労働安全衛生に関するテーマを決めてリーダー会やユニット会で腰痛予防や生活習慣病、リフレッシュについて話し合いました。ポスターを活用して全職員に対しての注意喚起も行いました。
- ・全職員に労働基準法上の正しい労働時間や休憩、休日、有給休暇について意識づけを行いました。職員間の偏りは小さくなり、前年度より有給休暇の取得率も上がりました。
- ・「長く働き続けられる職場」でいられるように、身体介助の場面以外で腰痛になりそうな動きを無くしていくという取り組みは進めることがませんでした。次年度に引き継いでいきます。

施設利用状況

入所	退所					月間空床率	延べ利用者数		
	死 亡		長期入院	施設間移動	計				
	施設内	病院							
4月	0	0	0	0	0	4.8	514		
5月	0	0	0	1	0	4.3	534		
6月	1	0	0	0	0	5.6	509		
7月	0	0	0	0	0	0.5	555		
8月	1	1	0	0	1	9.1	507		
9月	1	1	0	0	1	10	486		
10月	1	0	0	0	0	2	547		
11月	0	0	0	0	0	0	540		
12月	0	0	0	0	0	0	558		
1月	0	0	0	0	1	5.4	527		
2月	1	1	0	0	0	4.8	480		
3月	1	0	0	0	0	4.1	535		
計	6	3	0	1	2	6	6292		

介護度別	平成30年度末				年間延べ利用者数
	介護度	男	女	計	
要介護 1	0	1	1	5.6	198
要介護 2	0	6	6	33.3	1500
要介護 3	2	4	6	33.3	1978
要介護 4	0	3	3	16.7	1920
要介護 5	0	2	2	11.1	696
計	2	16	18	100	6292
		平均	2.9		

市町別	平成30年度末	年間	
		利用者数	入所数
まんのう町	18	6	6
計	18	6	6

外泊・入院の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
入院	26	23	24	3	39	27	7	0	0	23	0	18

年齢分布

年 齢	70歳未満	70歳台	80歳台	90歳台	100歳以上	計	平均	最高齢	最若齢
男 性	0	1	1	0	0	2	82.5	89	76
女 性	0	0	10	6	0	16	88.0	99	81
計	0	1	11	6	0	18	87.3		

認知症高齢者の日常生活自立度

	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
人 数	0	0	0	3	8	4	3	0

入所平均在所期間

男 性	3年か10月
女 性	3年か4月
全 体	3年か5月

職員研修派遣状況

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
6月20,23,29,30 日、7月7,11日	介護支援専門員専門研修過程Ⅰ	高松市		介護主任	今田 愛織
7月17日	施設ケアを変えるための課題解決セミナー	"		看護職員	丸山 明美
7月17,24日	介護支援専門員専門研修課程Ⅰ	高松市		介護主任	今田 愛織
8月7日	リスクマネジメント研修会	"		統括課長	岡田 力也
9月10,11,12日	香川県認知症介護実践研修(実践リーダー)	丸亀市		介護主任補佐	二宮 史光
9月12日	リスクマネジメント研修会	高松市		介護職員	大山 泰明
9月13,14日	香川県認知症介護実践研修(実践リーダー)	丸亀市		介護主任補佐	二宮 史光
9月27日	四国経営品質協議会・定例会	高松市		"	"
10月1,2,3,4,29日	香川県認知症介護実践研修(実践リーダー)	丸亀市		"	"
11月2日	メンター制度導入支援研修	高松市		統括課長	岡田 力也
11月23,24日	おむつフィッター3級研修		大阪府	介護主任	旭 愛
12月11日	香川県認知症介護基礎研修	丸亀市		介護職員	佐藤 奈央子
12月19日	腰痛予防対策講習会	高松市		統括課長	岡田 力也
1月 21,22,23,24,	香川県認知症介護実践研修(実践者)	丸亀市		介護職員	豊田 珠見
3月6,9,10,16 日、3月18,21	介護支援専門員更新研修	高松市		介護職員	矢野 吏香

施設内研修等(防災訓練を含む)

月 日	研修内容	参加人員	講 師
4月21、23、5月2、8、14日	AED・医療用酸素操作研修	21	通所看護職員
5月17、18、25、28、6月2、4日	接遇マナー研修	21	研修委員会
6月16、21、22、23、7月3日	食中毒予防研修	21	感染防止対策委員会
7月26、27、30、8月2、12日	事故防止研修	21	事故防止委員会
9月20、21、24、27、28日	ポジショニング研修	22	ポジショニング委員会
9月27日	火災防災訓練(夜間想定)	11	統括課長
9月23、24、28、30日	身体拘束廃止研修	21	身体拘束廃止委員会
10月15、30、11月1、5、9、10、13日	結核予防研修	21	感染防止対策委員会
11月1日	シェイクアウト地震行動訓練	12	統括課長
11月19、30、12月7日	インフルエンザ予防研修	22	感染防止対策委員会
12月21、22、27、1月9、10日	ノロウィルス予防研修	22	感染防止対策委員会
12月21、22、27、28、31日	苦情対応研修	22	苦情対策委員会
1月25、26、29、2月13日	個人情報・プライバシー保護研修	23	研修委員会
2月25、27、3月1、3、5日	高齢者虐待・身体拘束廃止研修	23	身体拘束廃止委員会
3月18、26、28日	認知症研修	23	研修委員会
3月22日	火災防災訓練(日中想定)	13	仲多度南部消防

実習等受け入れ状況

実習者名(団体名)	期間	実人員	延日数
香川短期大学	6月28日～6月30日	2	3
美作大学	8月27日～8月31日	1	5

事故報告統計データ(年間件数)

【1】事故報告

①事業別

事業	件数
施設(特養・GH・短期)	132
在宅(通所・居支・その他)	6
計	138

②発生場所別

場所	件数
居室	20
廊下	8
浴室	8
脱衣室	17
ホール	63
トイレ	13
食堂	0
玄関	0
施設外	3
その他	6
計	138

③事故内容別

事故の内容	件数
転倒	15
転落	3
誤飲・誤嚥	1
異食	6
服薬管理	7
自傷行為	0
徘徊	0
入所者間トラブル	1
器物損壊	11
皮下出血	59
紛失	3
金銭管理の事故	0
経管自己抜去	0
送迎・移送中の事故	1
職員の介助中の事故	3
私物返し忘れ	0
表皮剥離	15
その他	13
計	138

④発生時間帯別

時間帯		件数
朝	8時～10時	17
	10時～12時	17
昼	12時～14時	13
	14時～16時	27
夕	16時～18時	17
	18時～20時	12
夜間	20時～22時	2
	22時～24時	3
	0時～2時	4
	2時～4時	0
早朝	4時～6時	7
	6時～8時	19
計		138

⑤障害等

障害分類名	件数
骨折	3
打撲	7
皮下出血	60
すり傷	1
裂傷	2
呼吸困難	1
嘔吐	0
表皮剥離	15
精神不安定	0
外傷等なし	35
利用者の物品管理	0
送迎関係	1
服薬・異常なし	6
その他	7
計	138

【2】ヒヤリハット報告

①発生月別

月別	件数
4月	32
5月	23
6月	20
7月	24
8月	15
9月	24
10月	23
11月	25
12月	23
1月	28
2月	22
3月	29
計	288

⑥発生月別

月別	件数
4月	17
5月	13
6月	16
7月	8
8月	13
9月	8
10月	10
11月	11
12月	13
1月	6
2月	14
3月	9
計	138

⑦保険者への報告

内容	件数
入院等継続的な治療が必要となった事故	1
家族の申出により、苦情に結びつく可能性のある事故	0
介護上の事故等、その他の事故	0
計	1

ご意見受付数

	施設	短期入所	通所	居宅介護支援	その他	合計
①ケアの内容に関する事項	0		0		0	0
②個人の嗜好・選択に関する事項	0		0		0	0
③財産管理、遺産、遺言等	0		0		0	0
④制度、施策、法律に関する要望	0		0		0	0
⑤その他	0		1		1	2
合 計	0		1		1	2

身体拘束の状況

平成30年度も年間を通じて該当される方はいませんでした。

今後も委員会活動等を通じ継続して取り組みます。

年間行事一覧

月	日	行 事 名 (内 容)	参加人数		家族等	ボランティア
			施設	通所		
4	6	花見ドライブ、昼食会	18	7	6	5
5	10	夏野菜の植え付け	10	10	0	0
6	14~22	あじさいドライブ	9	16	1	0
6	15	さつま芋の植え付け	10	0	0	0
7	5~7	七夕祭り	18	16	0	0
7	28	仲南荘 夏祭り	2	0	0	0
8	18	満濃荘 夏のタベ	2	0	3	0
9	9	家族会(グループホーム)①	17	0	13	0
9	17	敬老の日 お茶会	18	8	0	0
10	7	秋祭り	18	1	28	13
10	8、12	運動会	0	14	0	0
10	17~19	さつま芋掘り	11	12	0	0
11	28	交通安全教室	4	7	0	0
12	24、25	クリスマス会会食	18	15	0	0
12	21	お餅つき	18	6	1	5
1	11	鏡開き	17	5	0	0
2	3、4	節分	17	8	1	0
2	23	家族会(デイサービス)	0	2	3	0
3	3、4	ひなまつり	17	10	0	0
3	10	家族会(グループホーム)②	17	0	13	0

月間定例行事・クラブ活動等(ボランティアによるものを含む)

	活動名	日 時	1回の平均 参加人数	ボランティア名等	内容
施設	手打ちうどん	毎月第1月曜日	18	野菊の会	満濃荘の手打ちうどん
	手打ちうどん	毎月第2金曜日	18	葉ばたんの会	
	手品、歌、踊りの披露	隔月	15	なかよし会	
	おばあちゃんのごはん	毎月第3金曜日	18		ご利用者主体の食事作り
通所	生け花	隔月	14		
	誕生日会	誕生日月	7		
	手品、歌、踊りの披露	隔月	7	なかよし会	
	手打ちうどん	毎月第1月曜日	9	野菊の会	満濃荘の手打ちうどん
	手打ちうどん	毎月第2金曜日	5	葉ばたんの会	
	手作り作品	毎月	14		
	手作りおやつ	毎月	14		

地域との交流

月	日	内 容	参加人数		交流者名	人数
			施設	通所		
5	14	高篠地区用水路清掃	1	0	高篠地区の住民	11
6	13	本の読み聞かせ	10	6	ポピー	6
6	29	高篠小学校児童との交流会①	18	7	高篠小学校5年生	0
9	2	介護教室	4	0	高篠地区の住民	59
10	2	高篠こども園園児との交流会	17	6	高篠こども園園児	0
11	4	高篠公民館ふれあい祭り	2	0	高篠ふれあいセンターへ参加	0
11	14	本の読み聞かせ	9	6	ポピー	5
12	12	高篠小学校児童との交流会②	17	8	高篠小学校5年生	0
3	11	高篠小学校児童との交流会③	17	9	高篠小学校5年生	0
3	13	げんき会の訪問	13	6	げんき会	8

運営推進会議

月	日		職員	家族	町・ボランティア・民生委員・本部	かりん	合計
5	25	第1回運営推進会議	2	1	1、2、1、2	1	10
7	27	第2回運営推進会議	2	2	1、1、1、1	1	9
9	28	第3回運営推進会議	2	2	1、2、1、1	1	10
11	30	第4回運営推進会議	2	2	1、2、1、1	1	10
1	25	第5回運営推進会議	2	2	1、1、1、1	0	8
3	29	第6回運営推進会議	2	1	1、1、1、1	1	8

(2) 通所介護事業

デイサービスセンターよりあい

小規模事業所ならではのゆったりとした空間で、職員だけでなくご利用者間とも密接な関わりを持つ時間を作りました。家事作業や野菜の収穫等の様々なレクリエーションや行事を通してご利用者の身体機能を維持するとともに、自信につながるように過ごしていただきました。

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ご利用者一人ひとりがデイサービスでどのように過ごしたいのか、過ごしていただいたらよいのかを毎朝のミーティングや毎月の会議の中で職員間で考え、サービス提供に活かしました。役割を必要としていたり、座ってゆっくりと話がしたいという方もおられました。
- 送迎の際やサービス担当者会などでご家族に報告や連絡事項をお伝えし、情報を共有しました。ご意見やご要望を気軽にいただけるように対応しています。細かな情報交換で信頼関係も築くことができています。

2. 健康支援機能向上訓練の充実

- ご利用者一人ひとりの暮らしてきた環境やもっている能力を活かし、少しでも在宅生活を継続できるよう個々に合わせた機能訓練を楽しみながら行えるようにしました。
- 福祉用具などを活用し、身体の緊張をほぐしたり心地よく感じていただけるように、やさしく体に触れることでリラックスしていただき、安楽な姿勢で過ごしていただきました。また、ご自分での歩行が継続できるように、歌を唄いながらの足踏み体操や、歩行の際の見守りや声かけに注意して関わりました。

3. 地域社会との関係を活かしたサービスの提供

- 地域密着型通所介護の事業所では、6か月に1回以上の運営推進会議の開催が義務となっていますが、今年度もグループホームの運営推進会議と合わせて2か月に1度運営推進会議を開催しました。その中でデイサービスの様子についてスライドを使用して報告を行いました。会議メンバーのご家族や地域の方々からアドバイスや感想を頂き、サービスの改善につなげました。
- デイサービスの定休日である毎月第3土曜日にデイルームを開放して、認知症カフェ「まんまんカフェおよりさん」を開催しました。季節の花を活けるなど環境を整え、地域の方々に気持ちよく訪れていただけるよう心がけました。毎回15人以上の地域住民が参加され、「毎月このカフェが楽しみだ」などの声が聞かれるほどに定着してきました。

4. 職員の育成と働きやすい職場環境づくり

- 毎朝のミーティングと毎月の会議の中で、職員が気づいたことや気になったことはどのような事でも意見を出し合って情報の共有を徹底しました。会議録にはご利用者に関わる特記事項を記録し、いつでも職員が見直せるようにしました。限られた勤務時間の中で取り

グループホームよりあい

組むべき課題が明確になり、職員がご利用者の変化についての気づきや理解が深まりました。

- ・ノーリフティングケアをはじめ、職員の腰痛を予防するための見直しを行いました。グループホームで導入されたスタンディングリフトも積極的に活用し、職場環境の改善にも働きかけています。

地域密着型通所介護事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼動日数	21	23	21	22	23	20	23	22	21	23	20	21	260
利用実人員	16	16	16	17	15	15	15	15	14	14	15	13	181
利用延人数	148	162	141	152	150	127	146	142	140	132	137	127	1704
利用率	70.5	70.4	67.1	69.1	65.2	63.5	63.5	64.5	66.7	57.4	68.5	60.5	65.5

介護度別利用状況

介護度	30年度末 登録人数	年間延べ 利用者数	比率
要支援1	0	0	0%
要支援2	0	0	0%
要介護1	4	367	21.5%
要介護2	10	882	51.8%
要介護3	3	315	18.5%
要介護4	2	127	7.5%
要介護5	1	13	0.7%
合計	20	1704	100%

VI. デイサービスセンター

おひいさん

(1) 通所介護事業

デイサービスセンターおひいさん

地域密着型通所介護事業所として、地域になくてはならない施設となるために地域のニーズにもきめ細やかなサービスでお応えできるよう取り組みました。

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・ご利用者の状態変化に注意し、ご本人はもちろんご家族やケアマネジャーとの連絡を大切にし、情報共有を進め迅速な対応を行いました。特に、連絡手段は相手の方に合わせことで、スムーズな連携が行えました。
- ・引きこもりがちな高齢者の方々にもサービスのご利用を継続していただけるよう、ご本人がやりたいと思えることを一緒に確認しました。日常の生活の中での活動（家事や庭いじり、旬の花や小枝を使った花活け、食卓を囲んでの団らんなど）を再現しながらご本人も楽しく思えることを大切にすることで、ご利用者が増えました。

2. 健康支援機能向上訓練の充実

- ・高齢による心身の機能低下予防のために、ご利用者個々にあわせた脳トレやリズム体操、口腔体操を無理なく参加していただけるように、相方向の会話を大切にして行いました。
- ・今年度も善通寺市の取り組みとしての医療介護連携研修に参加しました。医療・歯科・薬局・訪問看護・リハビリ職などとの関係を築くことで、今まで十分ではなかった部分の連携についても試行錯誤しながらより細やかな対応が出来るよう進めました。
- ・10時と15時に実施のリズム体操は、体を動かせながら聞き覚えのある童謡や唱歌を大きな声で一緒に歌うことで、脳トレや呼吸機能の訓練、また自然な笑い声を意識的に導くことで免疫力向上につなげました。

3. 地域社会との関係を活かしたサービスの提供

- ・平成30年10月より県社会福祉協議会の傾聴ボランティア養成講座終了者3名による月二回のボランティア活動の場を提供しています。地元出身で年齢も近く、昔の地元の暮らしの話題や地元の方言、懐かしい歌など、ご利用者も次第に引き込まれ全員が活気ある時間を持つことができました。
- ・開設より定期的に実施している近所の方のサロン「お茶会」や、そのお茶会メンバーがボランティアとして参加して下さる「お抹茶」の接待も定着できました。参加者の高齢化も次第に進んできたことから、参加者や地域の方へ声を掛け、新たなメンバーの募集をしています。
- ・年2回の運営推進会議では、外部の方々へおひいさんの日常をお伝えし貴重なご意見を伺いました。また、それぞれの立場を越えた情報交換をする場となり、短時間ですが有意義な時間となりました。
- ・近隣のNPO法人くすくすより定期的に子供たちの訪問がありました。ご利用者は自分の孫やひ孫と接している様子で、昔の大家族のようなにぎやかさを懐かしく思い出す機会と

なりました。

4. 職員の育成と働きやすい職場環境づくり

- ・個々のご利用者に合わせた対応が求められる中、それぞれの職員の経験や工夫をもちより話し合い実践を通して職員個々のスキルアップを図りました。
- ・時間差出勤の職員が多いため情報の共有には特に気を配り、連絡ノート、情報共有ファイルなど少しづつ改善を重ね、チームワークが発揮出来る環境を作りました。
- ・働きやすい環境を目指して、職員の提案を職員会などで検討しました。

地域密着型通所介護事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼動日数	21	23	21	22	23	20	23	22	20	20	20	21	256
利用実人員	19	21	21	20	19	20	21	21	24	24	24	23	257
利用延人数	154	190	161	160	167	149	172	169	158	159	158	160	1957
利用率	73.3	82.6	76.7	72.7	72.6	74.5	74.8	76.8	79.0	79.5	79.0	76.2	76.5

介護度別利用状況

介護度	30年度末 登録人数	年間延べ 利用者数	比率
要支援1	9	262	13.4%
要支援2	5	520	26.6%
要介護1	5	458	23.4%
要介護2	3	294	15.0%
要介護3	0	51	2.6%
要介護4	1	372	19.0%
要介護5	0	0	0%
合計	23	1957	100%

職員研修派遣状況

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
7月19日	指定介護予防事業所研修	普通寺市		看護師	安藤有美子
	//	普通寺市		介護職	戸内千春
7月25日	在宅医療介護連携研修	普通寺市		管理者	高田雅史
9月20日	指定介護予防事業所研修	普通寺市		看護師	安藤有美子
11月15日	在宅医療介護連携研修	普通寺市		管理者	高田雅史
11月29日	指定介護予防事業所研修	普通寺市		管理者	高田雅史
3月6日	在宅医療介護連携研修	普通寺市		管理者	高田雅史
3月25日	介護保険事業所 集団指導	高松市		管理者	高田雅史

施設内研修等(防災訓練を含む)

月 日	研修内容	参加人員	講 師
4月23日	摂食・嚥下研修	2	看護職員
5月15日	防災訓練(水害想定)	3	管理者
6月19日	感染症予防研修	5	看護職員
7月17日	認知症研修	1	管理者
8月21日	身体拘束、高齢者虐待	3	管理者
9月11日	事故防止研修	2	管理者
10月15日	防災訓練(火災想定)	3	管理者
11月1日	防災訓練 シェイクアウト(地震対応)	3	管理者
11月26日	感染症予防研修	4	看護職員
12月13日	交通安全	4	管理者
1月17日	事故防止研修	3	管理者
2月21日	防災訓練(火災想定)	3	管理者
3月15日	個人情報・プライバシー研修	4	管理者

実習等受け入れ状況

実習者名(団体名)	期間	実人員	延日数
お仕事体験 オリエンテーション	10月27日	2	1
お仕事体験 (くすくすキッズ)	11月23日	2	1

事故報告統計データ(年間件数)

【1】事故報告

①事業別

事業	件数
施設(特養・G.H.・短期)	
在宅(通所・居支・その他)	13
計	13

②発生場所別

場所	件数
居室	0
廊下	0
浴室	0
脱衣室	0
ホール	9
トイレ	0
食堂	0
玄関	0
施設外	0
その他	4
計	13

③事故内容別

事故の内容	件数
転倒	1
転落	1
誤飲・誤嚥	0
異食	2
服薬管理	1
自傷行為	0
徘徊	0
入所者間トラブル	0
器物損壊	1
皮下出血	0
紛失	0
金銭管理の事故	0
経管自己抜去	0
送迎・移送中の事故	0
職員の介助中の事故	0
私物返し忘れ	3
表皮剥離	0
その他	4
計	13

④発生時間帯別

時間帯	件数
朝	8時～10時
	10時～12時
昼	12時～14時
	14時～16時
夕	16時～18時
	18時～20時
夜間	20時～22時
	22時～24時
	0時～2時
	2時～4時
早朝	4時～6時
	6時～8時
計	13

⑤障害等

障害分類名	件数
骨折	0
打撲	0
皮下出血	0
すり傷	0
裂傷	0
呼吸困難	0
嘔吐	0
表皮剥離	0
精神不安定	0
外傷等なし	3
利用者の物品管理	8
送迎関係	0
服薬・異常なし	1
その他	1
計	13

【2】ヒヤリハット報告

①発生月別

月別	件数
4月	6
5月	8
6月	5
7月	6
8月	4
9月	4
10月	7
11月	5
12月	6
1月	6
2月	4
3月	7
計	68

⑥発生月別

月別	件数
4月	2
5月	1
6月	0
7月	1
8月	0
9月	2
10月	1
11月	1
12月	2
1月	1
2月	1
3月	1
計	13

⑦保険者への報告

内容	件数
入院等継続的な治療が必要となった事故	0
家族の申出により、苦情に結びつく可能性のある事故	0
介護上の事故等、その他の事故	0
計	0

ご意見受付数

	施設	短期入所	通所	居宅介護支援	その他	合計
①ケアの内容に関する事項			1		0	1
②個人の嗜好・選択に関する事項		0			0	0
③財産管理、遺産、遺言等		0			0	0
④制度、施策、法律に関する要望		0			0	0
⑤その他		0			0	0
合 計		1				1

身体拘束の状況

平成30年度も年間を通じて該当される方はいませんでした。

今後も委員会活動等を通じ継続して取り組みます。

デイサービス年間行事等実績

月 日	行 事 内 容	備 考(詳 細)	参 加 人 員
4/10～5/22(14日間)	冬春野菜・花の栽培	手入れ・収穫・花摘み・花生け・散歩・休憩	100
4/19,20	春の野外お茶会	庭の花に囲まれて、お茶会(午前中のおやつ飲み物)	16
5/1,2,14,16	新緑野外お茶会	庭の新緑と花に囲まれて、お茶会(午前中のおやつ飲み物)	32
5/24～9/14(29日間)	夏野菜・花の栽培	種蒔き・苗植え付け・支柱たて・誘引・収穫・花摘み・花生け・散歩・休憩	142
6/25～7/2	七夕飾り作り	折り紙等で、七夕の飾り作り	43
7/3～6	七夕	笹に七夕の飾りつけ、行事食・おやつ	41
7/2	おひいさん開所記念	行事食:バラ寿司	12
7/10,19	旬の味覚を味わう会	手作りおやつ:ブラックベリージャム作り	23
7/25	旬の味覚を味わう会	ゴーヤーの佃煮作り	7
8/13,15	旬の味覚を味わう会	手作りおやつ:盆団子作り	10
9/17～19	敬老会	行事食、手作りカード・プレゼント	39
9/24	お彼岸	手作りおやつ:おはぎ作り	5
10/8,9,24	秋の味覚を味わう会	野外食:さんま炭焼き・焼き芋(10/24室内実施)	36
11/9,20	旬の味覚を味わう会	手作りおやつ:すだちジュース作り	11
11/24	家族会		7
12/18,19,24,3/14	冬春野菜・花の栽培	種蒔き・苗と球根植え付け・収穫・花摘み・散歩	36
12/24～26,28	クリスマス・忘年会	鍋料理、ケーキ、手作りカード・プレゼント	52
1/7～11	絵馬づくり		31
1/11,14～17	鏡開き	手作りおやつ:せんざい	46
1/31,2/1	節分	豆まき、行事食・イワシ料理	25
3/1,4,5,6	ひな祭り	行事食・おやつ:ちらし寿司 ひなあられ 甘酒	32
3/21	お彼岸	行事食:ぼた餅、打ち込みうどん	11
3/26～28	桜のお花見食事会	庭の桜の下で野外食:手作りお花見弁当	36
3/29	桜のお花見お茶会	庭の桜の下でお茶会	8

レクリエーションメニュー(月間・週間・毎日)

内 容	実 施 日	備 考(詳 細)
体操・口腔体操・リズム体操	毎日	
創作活動	ご利用者の希望に応じて毎日	スケッチ・切り絵・塗り絵・折り紙・貼り絵 など
運動レクリエーション	〃	ゴムボール投げ、ボーリング など
脳トレーニング	〃	計算・間違探し・ジグソーパズル・日記・ゲームなど
歌謡曲・落語・漫談・浪花節	〃	リクエストにより視聴
調理補助 昼食の下ごしらえ	ご利用者に応じて 随時	収穫野菜のそじ、いりこ袋つめ など
洗濯干し・たたみ	〃	
庭で植物栽培、散歩、花生け	3月～10月ご利用者に応じて 随時	花・野菜の植付け、手入れ、収穫、花摘み、花生け、散歩、休憩(お茶)
お誕生日のお祝い	ご利用者の誕生日前後の利用日	手作り誕生日カードのプレゼント

月間定例行事・クラブ活動等(ボランティアによるものを含む)

	活動名	日 時	1回の平均 参加人数	ボランティア名等	内 容
通所	抹茶の会	4/17, 5/2, 6/22 10/16, 1/9	12	近隣地域ボランティア (お茶会参加者より)	抹茶と季節のお菓子を提供
	傾聴ボランティア	10月より毎月	8	野田弘子様、長野和子様	ご利用者との交流
	"	11月より毎月	10	山路俊英様	ご利用者との交流

地域との交流

月	日	内 容	参加人数		交流者名	人數
			施設	通所		
9	13	第1回おひいさん運営推進会議		3	包括支援センター 自治会長 民生委員 利用者家族代表	4
10	4	児童デイサービスの子供達との交流		10	NPO法人 子育てネットくすくす	8
10	5	獅子舞の訪問		12	近隣住民の方々	10
11	15	児童デイサービスの子供達との交流		11	NPO法人 子育てネットくすくす	10
12	6	"		13	"	12
2	7	"		13	"	7
3	14	第2回おひいさん運営推進会議		3	包括支援センター 自治会長 民生委員 利用者家族代表	5

カフェ・お茶会

月	日	種類	内 容	参加 人数	ボラン ティア数
5	26	お茶会	近隣地域の方々のサロン。14:00～15:00 無料 介護のお困りごとやご要望をお聞きし、情報提供する場。	9	0
9	29	"	"	7	0
11	24	"	"	8	0
3	30	"	"	6	0